

春夏 spring - summer  
2014

vol.

14

# 春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53

横浜市教育会館 3F

TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

今の天下何くにか

文明あらん、

実質は

文明に反す。



# アツティカの少女の墓

長田弘

Hiroshi Osada

葉桜の季節がくると、

ハナミズキの枝々の先に

幼い葉たちが群れて、揺れながら、

柔らかな日の光をつかんで、

いつせいに、花開きはじめる。

空の色がいちだんと淡くなつて、

遠くへとひろがってゆく。

晴天の、白藍色の、その中空に、

一冊の小さな本の記憶が、

雲のように、ふわりと浮かんでいる。

『或るアツティカの少女の墓』

本文わずか72頁の小さな本。

二五〇〇年前、幼くして逝った

一人の少女の死についての本。

少女の名も、少女の顔も知られない。

少女は、何者でもなかった。

けれども、出土したこの少女の

日頃愛蔵した普段の品と思われる

簡素な副葬品は、一つとして

その死を、暗鬱なものと伝えてはいない。

古代アツティカの時代、人の生活は

白日のうちにすべてにまさつて輝いていた。

春の朝の空気のように、死は透明だった。

英雄でも半神でもない。そこには

もう一人の自分がそこにいると感ぜられる

幼い少女がいるだけ。悼むとは、

死者の身近に在つて、死者がいつまでも

人間らしい存在であれとねがうことだった。

死のなかでなお生きつづける親身な精霊。

死者は時を忘れて生きる存在にはかならない。

四十雀の激しい啼き声に、目を上げると、

12

## させてくれた本

“page turner” という英語があります。

文字どおり、どんどんページをめくって読みふけてしまうほどおもしろい本のこと。  
読みだしたら止まらなくなった、徹夜してしまった、電車を乗り過ごしてしまった……。

では、人はどんな本を、時が経つのも忘れ読みふけるのでしょうか。

読書人のみなさんにうかがいました。

柄折久美子『森有正先生のこと』

## ——ものすごく迂遠な恋愛

阿部 公彦

Masahiko Abe

定期的に書評を連載してきた紀伊國屋書店のウェブサイト「書評空間」が、管理上の都合でまもなく閉鎖されるという。かれこれ七年一六〇本以上の評を載せてきた。我ながらよく続いたと思う。

取り上げた本のどれにも評者としては思い入れがあるが、「とりわけ変な本？」と問われたら、即座に答えが出る。柄折久美子の『森有正先生のこと』だ。著者は編集者から装丁家に転じた人だが、もともと仕事上の付き合いのあった哲学者の森有正氏に、ある時期から特別な感情を抱くようになった、らしい。この本はこの「らしい」の部分を扱っている。その書き方が実に回りくどいというか隠微というか隠蔽的で、とにかく柄折さんの性格がよく出ている。ために一箇所引用してみる。著者が師と仰いだ臼井吉見との、森有正をめぐるやり取りを描いた箇所だ。「数日前に仕事で会った時、私が森先生のことばかり言っていたら、『近々会おうね。大変なものに取

り付かれましたね、と言っておくよ。君がじゃない、森さんがだよ』と言われていたので、伝えてくださいと頼んだ覚えはないが、それ以外に思い当たることがないから、『光栄です』などと言われると汗の出る思い。としか言いようがない。さて、意味はわかりだろうか？ 何重にも間接話法になっており迂遠なことこの上ない。入試問題に出したくなる。でも文は人なり。きつと柄折さんはこういう文章のようなお人なのだ。森有正はわがままでマイペース。日記には「日本から柄折さんという修道女が来た」などと書く。そういう人の靴の踵など直したりして従順に奉仕しながら、実はものすごく頑固に、執念深く、しかし感情には蓋をしたまま夢中である。だが、ときにまわりくどい形でそんな感情がグバツと表に漏れ出た。この本に書かれているのはそういうことだ。森先生、きつと「むむ」と思っただけ。想像するのが楽しい。

木戸敏郎の『若き古代』（春秋社、二〇〇六年）は八百頁を越える大部の本だが、古代が若いという、逆説的な題名からもわかるように、わたしたちの常識を次々と覆してくれる。木戸氏は元国立劇場の演出室長。学究的であると同時に実践的。古代人に比べると「我々の思考は老化した思考である」と氏は言う。

いまでこそ仏教音楽の「声明」は、世界各地で演奏される機会が増えていくが、一九六六年、日本の伝統芸能の劇場として設立された国立劇場

の開場記念として、周囲の反対を押し切つて、「声明」を最初に音楽として採り上げ、劇場公演をさせ、演出したのは木戸氏であった。また、正倉院の御物のひとつ、「箏篋」（古代の弦楽器「アングル・ハーブ」）を復元した人でもある。

この本のなかで、古代の日本人には時間という観念はなかったと述べられている。時間の代りに空間があった。

御神楽を現代人が聴くと、同じ所作と同じ音楽の繰り返しで退屈だと

思う。しかし、それは音楽をヨーロッパの伝統的な思考様式に則つて、時間芸術として聴いているからで、古代人がそうであったように空間芸術として聴いた場合、まったく様相が異なってくる。御神楽の音は、一度奏でられると物理的には消滅するが、精神的にはその場に堆積すると古代人は考えた。反復ではなく重複であり、次々と密度が高まる。音は幻のように消えないのである。その緊張の空間を古代人は楽しんでいらした。

音楽が奏でられる舞台は、東西南北の方位と関係があり、舞台進行のテンポも、夜から明け方までの天体の運行と呼応していた。奈良生まれのわたしはこの本を読んだから、春日大社で毎年末に行なわれる「若宮おん祭り」の神事の意味がよくわかるようになった。夜を徹して野外の舞台上で演じられる御神楽や雅楽や舞楽が、それこそ「時を忘れさせてくれる」くらいに面白くなったのである。

## わたしたちは古代人よりも老化している

佐々木 幹郎

Mikito Sasaki

目の前に直立するアケボノスギの、  
ずつと孤独な裸木にすぎなかつたのに、  
今、枝先の新芽の閃くようなうつくしさ。  
花々と樹々のあいだの細い道を、  
本を読むように、道を歩く。  
空の本の文字を、一行一行、  
一人、涉つてゆくような速度で。

エルンスト・ブシオール『或るアツティカの少女の墓』（澤柳大五郎訳編）

## 本箱一つ

吉行和子

Kazuko Yoshiyuki

時を忘れさせてくれた本の存在は、  
有難い。そして何度読んでも、忘れ  
させてくれる本は私の大切な支えに  
なっている。

私の部屋には本箱が一つだけある。  
それほど大きくないアンティークの  
気に入っている本箱だ。ここに、何  
度でも読みたい本が入っていて、そ  
の他の、胸にしみ込む本の数々は、  
近くに借りてある、トランクルーム  
に並べてある。

本箱を眺めて見ると、俳句の本が  
多いのに驚く。いつの間にかこうな  
ってしまった。

俳句は、その時、その気分で、一  
句の持つ味が違つて感じられ、その  
都度新鮮だ。イメージが膨らむ。  
その中から三冊を選んでみた。

『酒止めようかどの本能と遊ぼうか  
——俳童の自画像』金子兜太さん。

『俳句で綴る変哲半生記』小沢昭一  
さん。『ねこは』南仲坊さん。

兜太先生のご著書は、どれを読ん

でも背筋が伸びる。この題名となつ  
た俳句は、六十歳の頃、健康のため  
にお酒を止めると決意なさつた時の  
句らしい。『どの本能』とおつしや  
る所が勇ましい。そして九十歳を越  
えられた現在も、この本能はますま  
す元気いっぱい、ピチピチと跳ねて  
いらつしやる。

小沢昭一さんは役者だ。だから多  
くの役者は小沢さんを尊敬し、誇り  
にして、自分達も後に付いていく、  
と力づけられた。しかし小沢さんの  
素敵なところは、そんなことなど知  
つちやないと、自由に生きていらし  
た。俳句も人間味豊かでユニークで、  
笑えたり、しんみりしたり、そして  
とても分りいい。

南仲坊さんは、猫になって俳句を  
つぶやいている。沢山猫が描いてあ  
り、どれも可愛い。『はねつきのほ  
ねおいかけてくびいたい』なんて言  
う猫もいる。

# 時を忘れ

## 恩地孝四郎『博物志』

池内紀

Osamu Ikeuchi

恩地孝四郎の『博物志』は昭和  
十七年（一九四二）六月、玄光社刊。  
前年十二月の真珠湾攻撃をきっかけ  
に太平洋戦争勃発。出版界でも紙の  
統制が始まつていたのである。奥付  
に一五〇〇部と部数が明記されてい  
た。

「長すぎる」  
おシャレなフランス文士をたしな  
めるように恩地孝四郎は述べていく。  
「長すぎも短かすぎもしいない。蛇は  
蛇としての甚だ適度な長さをもつて  
いる」。だからこそ蛇のつくる曲線  
は美しい。ある夜、ばかに寸づまり  
の蛇の夢を見たそう。それはまっ  
たく鈍重で、不気味で、醜怪なもの  
だった。

写真にはアオダイショウとジモグ  
リの二匹が写っている。アオダイシ  
ョウは大きくうねっている、文字ど  
おり「蛇行」中。ジモグりは丸いチ  
ョボをつけたかたち。写真説明に  
いわく、「体の曲がりや蛇自身のも  
の」。

画家・詩人恩地孝四郎は創作版画  
の開拓者であり、日本における抽象  
画のバイオニアだった。おそろしく

わたしは壮年のころ北村透谷研究  
に熱中していたことがある。透谷と  
いっても今の読者には解らないかも  
しれないが、樋口一葉、北村透谷、  
石川啄木と、いづれも二十代で不運  
な最後を遂げた天才的な文学者であ  
る。中でも透谷は二十五歳で自殺し  
ている。

かれには勝本清一郎が編んだ『透  
谷全集』（全三巻、岩波書店）がある。  
その第二巻の「万物の声と詩人」や  
「一夕観」は、わたしの中学時代の  
国語教科書に載つていたので、くり  
返し読んだ。とくに「一夕観」は暗  
誦することができた。わたしの血肉  
と化したといつても誇張ではない。  
哀感が底流している散文詩のような  
名文だからである。

「われは歩いて水際に下れり。浪白  
ろく萬古の響を傳へ、水蒼々として  
永遠の色を宿せり。手を拱ねきて蒼  
穹を察すれば、我れ『我』を遺れ  
て、飄然として、檻樓の如き『時』  
を脱するに似たり。  
茫々乎たる空際（くうがい）は歴史の醇の醇な  
るもの、ホーマーありし時、プレト  
ーありし時、彼の北斗は今と同じき  
光芒を放てり。同じく彼を燭らせり  
……われは自から問ひ、自から答へ  
て安らかなる心を以て蓬窓（ほうそう）に反れり。  
わが視たる群星は未だ念頭を去らず、  
靜かに燈を剪つて書を讀まんとする  
に、我が心はなほ彼にあり。我が讀  
まんとする書は彼にあり。漠々たる  
大空は思想の廣ろき歴史の紙に似た  
り……。吁、悠々たる天地、限なく  
窮りなき天地、大なる歴史の一枚、  
是に對して暫らく茫然たり。」  
かれはこれを書いて半年も生きて  
いなかった。ここには時代に容れら  
れなかつた若い自我と浪漫主義の悲  
傷がある。それが大戦前の稚（わか）  
しの心を捉えたのであろう。

わたしは透谷没後百年にあたる  
一九九四年に、長く準備してきた  
『北村透谷』一巻を上梓した（東大出  
版会刊）。その透谷論の最後のペー  
ジをこの「一夕観」の詩文で飾つた  
のである。

## 血肉化した透谷の詩文

色川大吉

Daikichi Irokawa

高麗な詩画集の作者であり、フォト  
グラムなどの実験を試みた写真芸術  
の先駆者であり、自立した装幀のジ  
ヤンルはこの人にはじまる。『博物  
志』はその多才さの結晶である一方  
で、なごらく「幻の本」だった。小  
部数がひっそりと出て、おおかたが  
大空襲と焼跡闇市の時代に行方知れ  
ずになった。

ある人から譲られたのが、十年が  
かりで恩地の評伝を書くあいだ、つ  
ねに仕事部屋の片隅にいた。書きあ  
げ、念願の本ができたあと、わが一  
冊と合わせてつつみ、持ち主にそつ  
とお返しした。



「時を忘れさせてくれた本」というお題ですが、過去形が微妙です。つまり、普通に考えれば、少年のころ、本の内容に夢中になって食事や睡眠も忘れて読書に没頭した経験のことを指すのでしょうか。たしかに、小学生のときのヴェルヌやルパン物に始めて、ドストエフスキーやスタンダールや風太郎忍法帖や大藪春彦に至るまで、多くの作家の書くものに夢中になりました。しかし、その時代には、そもそも「時」などという考えが頭になかったのです。

た「時」の少なさは勝手に棚上げにして、もつぱら過ぎ去った「時」のことを考えます。「あれは今から十年前のことだ……」などと、そんな「時」をいばばんよく感じるのは、音楽を聞くときです。それも、中学・高校時代に聞き狂っていたジャズやロックのCDを聞きかえすときです。そのとき私は、それらの音楽に熱狂していた中学・高校の自分に即座に戻る。過ぎ去った「時」を忘れてしまうのです。

ばしば開き、そこにある名文句を拾い読みします。例えば、ホールレス・シルヴァーについて。「個人的な好みから言えば、僕はホールレスのあの子猫が手まりをもて遊んでいそうな感じのピアノ・ソロをあまり好きではない」

こんなフレーズを読んだ瞬間、猫背を丸めて鍵盤に指を走らせるシルヴァーの姿が頭に浮かび、初めて「Preacher」を耳にした日の記憶が鮮やかに甦るのです。あの日の部屋の空気がたまたまや光まで。そんなとき、私はまがいなく「時」を忘れていきます。その意味で「ジャズ・レコード・ブック」は、いつでも時を忘れさせてくれる本なのです。

## 甦る今のごとき

中条省平

Shohpei Chujyo

## 一睡もさせない夢として

中村 邦生

Kunio Nakamura

まさしく我を忘れて読みふけた本の記憶を、若き日にまでさかのぼれば、その特権的な時間の思い出とともに、あれこれ甦らせることができる。いくつかの例は、近著（『書き出しは誘惑する』）にも記したばかりだが、さらに一作だけ加えるのであれば、やはりドストエフスキーの『カラマゾフの兄弟』であろうか。ときにパフチンや江川卓などの批評も参照しながら、米川正夫から亀山郁夫まで複数の翻訳を読み継いできた。父と四兄弟、愛憎入り乱れ、すべて激越な感情にかられ、過剰なまでの情意をかかえているが、進むにつれ読者の気分もまた熱を帯びてくる。未完に終わった小説だけに、三男の敬虔な修道士（しかし単なる純真坊やではない）アリオージャが、やがて仲間

の少年たちとロシア皇帝打倒のテロリストになるとか、さまざまな続編が推測されてきた。私は取り立てて、そうした論議を擲論したいわけでもなかったが、修道院を出たアリオージャが『悪霊』のスタヴローギンと『白痴』のムイシュキン公爵を誘い、百年の時空を超えて九月十一日に、銀色の飛行物体に分乗し、「聖なる愚行」へと突進する話を挿入したことがある（『転落譚』）。

しかし、私が心惹かれるのは、必ずしも時を忘れる読書というわけでもない。ペソアの「私を一睡だにさせなかつたのはどんな夢だつたのか」（『不穩の書、断章』）という呟きに重ねて述べれば、一睡もさせない夢、とびきりの覚醒をうながす驚きにみちた夢としての読書だ。それは読書の途中でふいに現れる。すると私は本を閉じ、読みを中断し、そわそわと他のことを始める。もちろん、思いは激しく渦巻いている。読みの中断を促す本こそ、私にとつての（傑作）にはかならない。小説で言えば、バクスター「ガーシュインのプレリュード第2番」、林京子「空籬」、F・オコナー「国賓」とか、藤枝静男『欣求浄土』、ペレック『人生使用法』、『シュルツ全小説』、ボルヘスやカフカの掌編や断片さえも……と書き出したら、もの狂おしくなってきたので、ここまでとしたい。

# 時を忘れさせ

## 『やちまた』の時間

平尾 隆弘

Takahiro Hirao

「時を忘れさせてくれた本」と言えば、ふつう夢中になって読みふけた本を指すのだろう。私にもそんな本は沢山ある。しかし『やちまた』（足立巻一・朝日文庫）の場合は事情が少し違う。

一九九五年三月二十日、地下鉄サリン事件が起こった。三月初め、週刊誌編集部に異動したばかりの大事件である。二十日は月曜日、校了日まで一日しかない。急遽、特集頁を全面入れ替えて上へ下へへの大騒ぎとなった。

以来、私の日常はすべてオウム事件に占拠され、生活のリズムも狂うことになった。

『やちまた』に出会ったのはその渦中である。以前から書名は知っていたが、文庫化を機会にふと興味を惹かれたのだ。読み始めたのは八月十八日、毎日欠かさず頁を開き、読了したのは九月五日。一日五十頁ずつ読み進めたことになる。

『やちまた』は、戦前の神宮皇學館（国文学の専科）で学んだ著者の自伝であり、自らの研究課題であった本

居宣長の長子・春庭の評伝でもある。

「やちまた」の書名は、春庭の著『詞の八衢』から取っている。「人間の本当の自立は親の死によつて始まることが多いものだ」とあるように、父・宣長の死後、息子は衣鉢を継ぐように執筆に没頭した。描かれた春庭の姿は一途で、三十二歳で失明してからも学問への情熱を絶やさない。宣長の我が子への愛情、春庭の妹や妻の献身にも胸打たれるし、著者の恩師や友人との交遊には、心温まるものがある。著者・足立巻一は本書

には半世紀の歳月を費やしている。私は『やちまた』を読むのが心の支えになった。オウム事件とは対極にある、真摯で静謐な世界。この書に触れていると気持ちが落ち着き、人間も捨てたものではないと思えた。今も手元にある文庫本には、鉛筆で記した当時の日付が残っている。その痕跡を見ると少し自分が愛おしくなる。一冊の書物が「悪夢のような時」を忘れさせてくれたのだった。

# 翻訳ピンチ!

中条省平  
SHOHEI CHUJO

13

## ミツヒラトとユニオシの末裔?

マンディアルグの新訳を計画中で、『刃の下』『薔薇の葬儀』という最後の短編集2冊から何作か選ぼうと思います。

晩年のマンディアルグは日本文学、とくに三島由紀夫の讃美者だったので、そのあたりを選択の目安にしようと考えて、まずは5人の日本人女性が登場する『薔薇の葬儀』を読み直しました。この短篇には既訳がありますが、その女性たちの名前が日本人らしくないという理由で、すべてカタカナ表記です。でも、それだけで日本人女性が嘘臭い人形のように見えてしまいます。

確かに外国の小説などに出てくる日本人の名前には変なものも多く、少年記者タンタンが活躍するマンガで日本人の悪役はミツヒラト、カポーティの『ティファニーで朝食を』の日本人はユニオシ。ありそうだがありえない!

しかし、マンディアルグは三島の戯曲『サド侯爵夫人』と『熱帯樹』のフランス語訳の責任者であり、日本語はできないにしても、日本文化の造詣は並々ならず深い人物です。ここはやはりなんとか漢字を当てて日本語らしい源氏名を考えべきところでしょう。

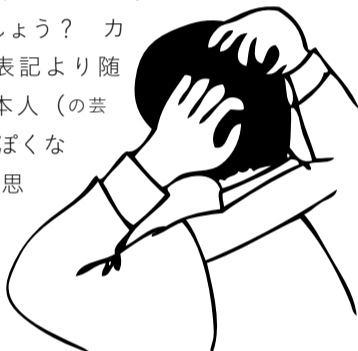
まず、アオイは葵で問題ありません。いかにも源氏名らしい。イヨもよくある名前ですが、ここは単弼呼の跡継ぎの巻与としたい。ダイニは意表を突きますが、古代日本の官職名であり、百人一首に大式三位という女歌人もいたので大式で文句なし。

しかしイヌキで困っていたところ、本紙編集長のO田さんが源氏物語の「若紫」に出てきて紫の上を泣かせる童女の犬君でしようとい発解。まさに源氏名だったので。

最後にナカ・ハン。このベンガル出身のレスラーみたいな名前の「ハン」は、作者自身が漢字の「漢」の中国語読みで、彼女の漢王朝につながる出自を表すと説明しています。ナカはあっさり当てて字で奈花。

どうでしょう? カタカナ表記より随分と日本人(のオキ?)っぽくなったと思うのですが。

(仏文学者)



# ポストモダンの処方箋

13 謎を与えること

白井聡

この原稿を書いている四月といえば、新学期の季節である。私にとって、大学で教える仕事を始めてから、八度目の四月が巡ってきた。無責任に聞こえるかもしれないが、これだけの長さで教師業をやってきていまだに全然わからないのが、どのような教育が本当の教育なのか、という問題である。というのは、教育は結果がすべてである。プロセスにおいて努力を重ねられる要素はたくさんある。配布資料を充実させたり、板書を改善したり、説明方法を工夫したりと数限りない。しかしながら、これらの努力を重ねたところで、教わる側の知的意欲に点火できなければ、およそ教育が成功したとは言えない。その意味で、「結果がすべて」なのだ。

かつて関わった学生(A君)から聞いた話が忘れがたい。A君が懸命に学ぶようになったきっかけは、次のようなものだったという。

私「なんでマルクスに興味を持ったの?」

A「マルクス経済学の授業を受けたんです。担当はS教授でした」(S教授は東北訛りで講義をするベテランであった)

私「どんな授業だった? 面白かった?」

A「恐慌のメカニズムを説明するんですけど、供給曲線と需要曲線を描いて、いわく『供給がパーッとになって、需要がガーッとになって、それで恐慌がおきて革命になるはずなんだけど、近頃はそうならなくて、もう困っちゃうんだよー』と」

私「……その説明でわかったの?」

A「もちろんわかりません」

実に、説明能力と教育能力は、ほとんど関係がないのである。察するに、独特の口調で「困っちゃう」とボヤいたS先生のお姿が、A君の中の何かに火を点けたのだ。彼は「わからなかった」からこそ、そしてS先生の困惑をどうしてもわかりたくなかったから、学び始めたのだろうと私は思う。思えば、恐慌が発生することでなくそれが発生しないことに心底困惑している人物とは、今日、かなり衝撃的であったはずだ。おそらく、人を本当に惹き付けるのはわかりやすいものではなく、よくわからないもの、謎なのである。若い人たちにどんな謎を与えるのか、そこに私の仕事の本質が懸っているように思えてならない。

(政治学者)

# 日々の風

暮らしのなかの哲学

長谷川宏

## 9 幼児と暮らす日々

この三月に娘の一家四人が引越してきて、わが家は、息子との二人所帯から六人所帯にふくれ上がった。娘夫婦は東京・世田谷区で小さな和風料理店を開いていたのだが、三歳と一歳の幼児をかかえて夕方から店を開く毎日負担が大きすぎ、幼児の世話を多少とも分担してもらおうと、実家に越してきたという次第だ。妻は二年半ほど前に亡くなったから、幼児の祖父たるわたしを当てにしての同居である。七四歳にして子育てならぬ孫育てにかかわる日々と相成った。

わたしには四十年ほど前に男、女、女、男の四人の子どもを育てた経験があるから、幼児の世話にとまどうことはない。考えねばならないのは、家に子どもいないこ三十五年の暮らしを、幼児二人の育つ暮らしへとどう組みかえていくかということと、七〇代の身で幼児相手にながででき、ながでできないかを見定めることだ。この二つについては、娘一家が越してくる前からあれこれ思いをめぐらし、越してきた後も、ああでもない、こんでもないという試行錯誤が続いている。自宅と塾がくっついているわが家はもとと人の出入りが多く、塾のOB・OGが赤ん坊連れでやってくるのも珍しくないから、娘一家の同居の話はいつのまにか広がって、まわりからも経験を重ねた忠言やら意見やら感想やらが寄せられて、それがおもしろい。わが子四人も、こうやってまわりの人びとに見守られ助けられて育つたな、と、わたしはちよっぴり胸を熱くして昔を懐かしんでいる。

ともあれ、幼児二人がそばにいる生活が始まり、それが一日一日と前へ進んでいく。進んでいく、というこの感じがなにより新鮮なのだ。改めて思う。むずかしい話ではない。幼児の成長はめざましく、見ていると一日一日が新しく思えるのだ。一歳になったばかりの下の子は歩き始めで、一步の踏み出しが日に日に安定感をますし、三歳の上の子は口にする言葉が一日一日とふえていく。その成長ぶりが、四〇年前と同じく、わたしを新鮮な驚きへと誘うのだ。

七〇の年齢差を越えて驚きを感じられることに、わたしは人の暮らしの不思議さを感じている。

(哲学者)

# 大河

しりあがり寿

12

軍師の計



敵の大軍が迫っていた。

「兵をまとめ、敵の中央を突破すべし!」

「いや、兵は二手に分け敵の側面から崩すべし!」

「軍師どの、いかがなされる?」

黒中千兵衛は迷った。

「うむ、では兵を分け手薄な側面を突かせるか」

「寡兵がさらに兵を分けるなど言語道断!」

「うむ、では全兵を挙げ、敵総大将に突撃させよ!」

「ぶ厚い正面からまともにあたるとは正気の沙汰では」

「やらん!」

黒中はさらに迷った。

「やはり側面から」

「いや正面から」

指示を出してはひっこめるため前線では旗が右往左往している。

それを見ていた敵もこちらの出方をつかみかね、

一旦軍をとめたところに折からの大雨による鉄砲水が

襲ったから、

ひとたまりもなかった。

これを知った黒中千兵衛が立ち上がってよばわった。

「これぞ秘策、優柔不断の計!」

これを聞いた一同ごとく呆れるより他なし、と伝えられる。



哲学・思想・宗教



道徳の境界はどこまで拡大するのか？

横超の倫理
ローティ、ハイエック、シンガーを超えて
谷口隆一郎
(聖学院大学教授)
四六判上製・四七四頁
ISBN 978-4-86110-393-3

「横超」とは何か。他者を上から見下ろすでもなく、下から見上げるでもない。自己の道徳の境界を越えて横並びの他者と連帯すること。
「横超」という概念を大胆に導入することにより、見知らぬ者の協働と連帯を志向する、共感に基づくプログラムティックな倫理の可能性を探る。
個人やコミュニティが他者や他のコミュニティへの共感を通じて、問題や課題への関心を分かち合い、それらを共通の課題として受け止めて協同することの重要性を説く。自己の道徳の境界を越えず描き直し、明日への公共倫理を見通すために――。



不思議フランス 魅惑の謎
藤野敦子
なぜ若い娘より熟女がモテるの？ なぜ一般家庭の晩御飯が冷凍食品なの？ オランド大統領はどうしてダイエットに成功したの？ カトリック教徒が教会に行かない理由は？――
日本人女性研究者が見た仏日の恋愛観・結婚観から、仕事観、宗教観、死生観まで。今の社会フレームは、私たちを幸せにするのか？ フランスの「不思議」から日本の「明日」を考える25項。
ISBN 978-4-86110-401-5 ¥1800



哲学の挑戦
西日本哲学会編
どんな時代、場所でも、もろい殻に包まれたかけがえない魂が存在する限り、哲学はなくなることはない。今、何が問題で、どうすることが考えられているのか。豪華執筆陣による最前線での格闘の記録！
ソクラテス、アリストテレス、プロティノス、デカルト、スピノザ、ベルクソン、ハイデッガー、レヴィナス、フレーゲをはじめ多くの哲学者に関する新たな視点からの議論を提示する。
ISBN 978-4-86110-335-3 ¥2800



釈譜 詳節(上・中・下)
朝鮮世祖 纂述/河瀬幸夫 訳

15世紀に発明されたハンゲルで記述された韓国独自の釈迦伝「釈譜詳節」は、韓国文学史上最高傑作と言われている。同時期に書かれた「月印千江之曲」と「月印釈譜」も訳し、その全体像に迫る。三書を一連のものとして通説でき、本邦初訳の全三巻、遂に完結！
「釈譜詳節」「月印千江之曲」「月印釈譜」三書に記録された仏教世界。それは、単に一五世紀の朝鮮半島における仏教理解ということに限定されるものではなく、三国時代から高麗時代を経て朝鮮時代に伝えられた仏教の朝鮮半島における理解の全体像を総合的に示すもの。さらには東アジアにおける仏教理解の共通性と多様性を読み解く。
釈迦の生涯についての書物であることを超え、大乘仏教の悟りの核心を解き明かす大著！
上 ISBN 978-4-86110-209-7
中 ISBN 978-4-86110-363-6
下 ISBN 978-4-86110-271-4 各巻 ¥6500

新井奥達著作集
工藤正三(新井奥達先生記念会幹事・コールダニエル(福岡女学院大学教授)共編)
森有礼の指示により滞米。帰国後、田中正造や高村光太郎などの明治の知識人に深い感化を与えたキリスト教神秘主義者の全貌。
[全十巻/分売可] 各巻 ¥6500

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション
稲垣論(自治医科大学教授)
病を生きる患者の体験に接近するために哲学的思考を導入する。そのとき、人間の経験の未知の領域がたちあらわれる。臨床と現象学を結ぶ新たな哲学！
ISBN 978-4-86110-303-2 ¥2381

知られざるのちの思想家
新井奥達先生記念会 監修
教育観、父母神思想、儒教との関わり、芸術家への感化、スウェーデンボルグとの比較など、奥達の全貌を多角的にわかりやすく紹介。略年譜、キーワード解説、珍しい奥達取材新聞記事も再録。(品切)
ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600

超越する実存
人間の存在構造と言語宇宙
棚次正和(京都府立医科大学大学院教授)
実存とは何か？ 超越とは何か？ 相互の関係を豊富な具体例から探る。従来の二項対立から抜け出し、実存と超越が交錯するという新しいダイナミズム。
ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

ちいさな哲学
長谷川宏(哲学者)
食、医療、身内の死など、ささやかな日常の風景に隠れている真実をみつめる珠玉のエッセイ集。公害病に押しつぶされながら沈黙を強いられた水俣市民の姿を描く幻の論考を収録。
ISBN 978-4-86110-192-2 ¥1800

『方法叙説』をめぐる六つの試論
日本の思惟と西欧の思惟に介在する深淵
小林利夫(小林利夫フランス語教室 創設者)
著/徳永雅(関西学院大学他兼任講師)編
西欧の言語及び西欧人の思惟の根底に迫ろうとする画期的な試み。
ISBN 978-4-86110-254-7 ¥3619

新しい国家―海辺の別荘で教養と信仰と哲学を語り合う
W・H・マロック 著/澤井勇(実践女子大学名誉教授) 訳
キリスト教信仰が後退し、合理主義・物質主義が拡大していく19世紀イギリスの精神状況を描き出す名著。待望の翻訳。
ISBN 978-4-86110-319-3 ¥2800

サルトルとマルクス
I 見えない「他者」の支配の陰で
II 万人の複数の自律のために
北見秀司(津田塾大学教授)
フーコー、ドゥルーズ、デリダらの「後の」サルトル。真の民主主義とは。
I ISBN 978-4-86110-213-4
II ISBN 978-4-86110-214-1 各巻 ¥3333

仮説法の倫理学
ポー・パース・ハイデッガー
村上隆夫(群馬大学教授)
現代の倫理学を特徴づけるものは何か。パースのプラグマティズムを軸に、カントやニーチェ、ハイデッガー、ポーを参照しつつ描き出される倫理学の展望。
ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600

同一性の形而上学
映画・SF・探偵小説
村上隆夫(群馬大学教授)
古代円形劇場から近代の半円形劇場、現代の映画へ。探偵小説、SF、映画を参照しつつ、西欧近代における「同一性」を救い出す哲学の試み。
ISBN 4-86110-059-3 ¥5600

絶対無と神―京都学派の哲学
小野寺功(清泉女子大学名誉教授)
西田幾多郎、田辺元、西谷啓治……。独自の体系を築き上げた京都学派を読み直し、キリスト教との接点をさぐる著者畢生の大作。「単なる流行思想でなく、最高最深の問題である」(鈴木亨)
ISBN 4-921146-47-0 ¥4600

大地の文学
「増補」賢治・幾多郎・大拙
小野寺功(清泉女子大学名誉教授)
「風のモナドロジー」へ……。賢治・幾多郎・大拙の思想を媒介に賢治を読み解く、「東北の哲学」の試み。新論考「賢治の霊性文学」を加えた増補決定版。
ISBN 4-86110-019-4 ¥2800

聖霊の神学
小野寺功(清泉女子大学名誉教授)
キリスト教「三位一体論」を聖霊の神学と捉え直し、現代に復興する野心的大作！
ISBN 4-921146-81-0 ¥7600

小林秀雄とウイトゲンシュタイン
中村昇(中央大学教授)
気鋭の哲学者が明かす、言語哲学者としての小林！
ISBN 978-4-86110-106-9 ¥2500

信仰の美学
阿部仲麻呂(サレジオ会司祭)
「若き神学者の瞑想から生まれた珠玉の文章」(渡部昇一)
ISBN 4-86110-028-3 ¥9500

待つしかない、か。
―二十世紀 身体と哲学
木田元(哲学者) / 竹内敏晴(演出家)
思想と身体、絶望と希望をめぐって激しく語る。(品切)
ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600

世界内存在の解釈学
「ハイデッガー」「心の哲学」と「言語哲学」
荒畑靖宏(慶應義塾大学准教授)
現代の英米哲学とハイデッガーを接続。(品切)
ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

直接知の探求
西田・西谷・ハイデッガー・大拙
松丸壽雄(獨協大学教授)
科学主義を批判し、真理観の更新を迫る。
ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400

犠牲と身代わり
―記憶できないものをめぐって
長田陽一(京都光華女子大学教授)
記憶の外部性II記憶の他者へと迫る。
ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200

異教の完成者―史的イエスをめぐる謎
波多野直人(武蔵大学教授)
諸教が混交していた当時の宗教状況を明らかにし、キリスト教信仰の本質に迫る。
ISBN 978-4-86110-351-3 ¥3500

◆各書籍の左下に¥で示している数字は税抜価格です



<p>〈文化〉の思想―現代日本の位置から 西欣也 (甲南大学教授) 近代日本の思想を呪縛し続けた〈文化〉 の概念をたどる。 ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200</p>	<p>聖書における愛 ―イエスの愛とパウロの愛 高見伊三男 (牧師/名古屋学院大学教授) 愛の根本となるアガペーを丁寧に語る。 ISBN 978-4-86110-287-5 ¥2200</p>	<p>明治のスウェーデンボルグ 瀬上正仁 (思想史家/整形外科医) 日本人の心と神秘主義思想との接点を探る。日本近代史が見落としていた明治キリスト教秘史。(日切) ISBN 4-921146-85-3 ¥3333</p>	<p>Essays on Dickens, Forster, Austen: A Japanese Reader's Appreciation 藤田永祐 (獨協大学名誉教授) 『デイヴィッド・コッパフィールド』『高慢と偏見』などを、日本人独自の視点から味読する。(英文) ISBN 978-4-86110-388-9 ¥3000</p>	<p>永井荷風 ゴライズムの射程 ―初期作品をめぐって 林信蔵 (京都大学非常勤講師) 初期作品にあらたな光を当てて。 ISBN 978-4-86110-222-6 ¥3619</p>	<p>小出梢重と谷崎潤一郎 ―小説「夢喰ふ虫」の真相 小出龍太郎・明里千章・荒川朋子 小出家にまつわる謎を追う！ ISBN 4-86110-084-4 ¥2500</p>
<p>学び住むものとしての人間―「故郷喪失」と「学びのヒリスム」を超えて 吉村文男 (京都教育大学名誉教授) 人間中心主義の陥穽に挑む！ ISBN 4-86110-078-X ¥2800</p>	<p>河合榮治郎の社会主義思想体系 ―マルクス主義とフアンズムを超えて 青木育志 (研究者) 河合の再評価をうながす。 ISBN 978-4-86110-272-1 ¥3800</p>	<p>風についての省察 ―絶対無の息づかいをもとめて 松山康國 (関西学院大学名誉教授) 神秘主義の妙味へと迫る。 ISBN 4-921146-85-3 ¥3333</p>	<p>ミルワード氏の英文学散歩 ―ルネッサンスから現代へ ピーター・ミルワード 編著/橋本修一 (千葉工業大学教授 訳) シェイクスピアからギンシングまで、英文学の達人が厳選した四五作品を紹介し、作品の時代背景や思想を解説。 ISBN 978-4-86110-167-0 ¥1800</p>	<p>古代歌謡と南島歌謡 ―歌の源泉を求めて 谷川健一 (民俗学者) 日本人の魂の秘密に迫る！ ISBN 4-86110-028-5 ¥2400</p>	<p>小出梢重 ―光の憂鬱 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部教授) 夭折の洋画家の実像を孫が語り明かす。 ISBN 4-921146-34-9 ¥2200</p>
<p>ヤスパース―人間存在の哲学 吉村文男 (京都教育大学名誉教授) 「永遠の哲学者」ヤスパースは、われわれに何を開示するのか？ ISBN 978-4-86110-260-8 ¥4571</p>	<p>教養主義者・河合榮治郎 青木育志 (研究者) 教養とは雄々しく惨ましい人生の戦いである。現代における教養を改めて問う。 ISBN 978-4-86110-320-9 ¥3000</p>	<p>思想のレクイエム ―加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡 浅見洋 (石川県立看護大学教授) 加賀・能登にゆかりの深い思想家の哲学。 ISBN 4-86110-068-2 ¥3500</p>	<p>イギリス イメージ横断 ―表象と文学 要田圭治 (広島大学教授)・田原光広 (広島大学准教授)・吉本和弘 (県立広島大学准教授) 編 マンビー、オーウェル、ブレイクなど、イギリス文化・文学の諸相に分け入る。 ISBN 978-4-86110-278-3 ¥3333</p>	<p>カズオ・イシグロ ―「日本」と「イギリス」の間から 莊中孝之 (京都外国語短期大学准教授) 長編六作品を読み解く。 ISBN 978-4-86110-255-4 ¥3000</p>	<p>朝鮮神話の源流―「バリ公王神話」と「ダンクン神話」を巡って 金香淑 (自白大学専任講師) 神話と仏教の影響関係を明らかにする。 ISBN 978-4-86110-313-1 ¥4500</p>
<p>茶の本 岡倉天心 著/ソントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) 訳 これまでにない親しみやすい訳！ ISBN 978-4-86110-191-5 ¥1300</p>	<p>ロールズ誤解された政治哲学 ―公共の理性をめざして 堀巖雄 (研究者) 新たな可能性を汲み上げる！ ISBN 978-4-86110-112-0 ¥4700</p>	<p>西田幾多郎 ―生命と宗教に深まりゆく思索 浅見洋 (石川県立看護大学教授) 日常に宿された諸問題の根源に迫る。 ISBN 978-4-86110-185-4 ¥3333</p>	<p>失われたバリを求めて ―マルセル・ブルーストが生きた街 アンリ・ラクシモウ著/吉川佳英子 (京都造形芸術大学准教授)・岩野卓司 (明治大学教授) 訳 『失われた時を求めて』の醍醐味を、パリの魅力と絡めながら紹介。 ISBN 978-4-86110-236-3 ¥2000</p>	<p>なぜ男は笹野頼子を畏れるのか 海老原暁子 (元立教女学院短期大学教授) 性別観をくつがえす孤高の作家の叫びをとらえる。 ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381</p>	<p>民話の森の歩きかた 樋口淳 (専修大学教授) 世界中で語りつがれる五つの物語を読み解く。 ISBN 978-4-86110-273-8 ¥2381</p>
<p>源信とパウロ―「往生要集」と「書簡」における神秘主義の比較 高見伊三男 (牧師/名古屋学院大学教授) 対話と前進の新たな可能性。 ISBN 978-4-86110-123-6 ¥3200</p>	<p>対話論神学の地平 ―私の巡礼のなかから 延原時行 (敬和学園大学教授) 西田とホワイトヘッドの間へ。 ISBN 4-86110-081-X ¥4286</p>	<p>二人称の死 ―西田・大拙・西谷の思想をめぐって 浅見洋 (石川県立看護大学教授) 悲哀から哲学をとり返す。 ISBN 4-921146-75-6 ¥2800</p>	<p>樋口葉 ―物語論・言語行為論・ジェンダー 笹川洋子 (神戸親和女子大学教授) 一葉文学のジェンダー意識にせまる。 ISBN 978-4-86110-348-3 ¥4000</p>	<p>なぜ男は笹野頼子を畏れるのか 海老原暁子 (元立教女学院短期大学教授) 性別観をくつがえす孤高の作家の叫びをとらえる。 ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381</p>	<p>テクストの思考 ―日本近現代文学を読む 林浩平 (詩人・恵泉女学院大学特任教授) 王道の日本文学から「文学」まで。 ISBN 978-4-86110-253-0 ¥3048</p>
<h2 style="margin: 0;">文芸評論</h2>					
<p>ジョージ・エリオットの異文化世界 高野秀夫 (駒澤大学名誉教授) 『ミッドルマーチ』や『ダンエル・テロング』に見られる仏教への言及を手がかりとして、一九世紀英国の女流作家エリオットが持つ東洋への関心を探り出し、その作品の世界性・普遍性を明らかにする。 ISBN 978-4-86110-395-7 ¥3333</p>	<p>トルストイと生きる 藤沼貴 (早稲田大学名誉教授) 岩波文庫版『戦争と平和』などの翻訳を手掛け、トルストイ研究に生涯を捧げた藤沼貴。その論考を執筆順に収録し、トルストイの創作と生の真実に迫る。生涯をかけて成しとげられた大著。 ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762</p>	<p>戸籍の謎と丸谷才一 ソントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) 戸籍ほど日本人が固執し、また警戒し、時代時代の宗教や法律を超えて長命を維持してきた社会制度は日本には他にない。丸谷才一の作品を通して、その謎に迫る。 ISBN 978-4-86110-381-1 ¥1800</p>	<p>明治大正露文化受容史 ―二葉亭四迷・相馬黒光を中心に 小林実 (十文字学園女子大学短期大学部准教授) 反発しながらも憧れたロシア文化を、日本人はいかに受け入れ、血肉化したか。二葉亭、黒光を中心に日本文化の来歴に迫る。 ISBN 978-4-86110-219-6 ¥6476</p>	<p>ぼくの交遊録 岡井隆 (歌人) 作家、詩人、歌人、俳人との邂逅と交遊が伝える戦後から現代への息吹。 ISBN 4-86110-044-5 ¥2800</p>	<p>乱読すれど乱心せず ―ヤスケンがえらぶ名作50選 安原顯 (スパーエディター) 文庫で読める大作家たちの旧著を再読。 ISBN 4-921146-67-5 ¥1800</p>
<p>アン・ニオ・タブッキ 反復の詩学 花本知子 (京都外国語大学講師) 物語の萌芽が表現されることをおのずから要求し、作家はそれをじつと待つ。二〇一二年三月に亡くなった現代の巨匠タブッキの作品を読み解くための清新な文学評論集。 ISBN 978-4-86110-358-2 ¥3000</p>	<p>作品は「作者」を語る ―アラビアン・ナイトから丸谷才一まで ソントン不破直子 (日本女子大学名誉教授)・内山加奈枝 (日本女子大学准教授) 編著 ロラン・バルト以後の「作者」とは何か？丸谷才一「輝く日の宮」など、八つの視点から「作者」を探究する。 ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857</p>	<p>インタビュ―現代短歌 ―うた・ひと往来 及川隆彦 (『短歌往来』編集長) 歌人、詩人、評論家の言葉が一冊に！ ISBN 4-86110-066-6 ¥2857</p>	<p>新版文学にひそむ十字架 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部教授) プレヴォー、ユゴーなどの名作を味読する。 ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800</p>	<p>名刀中条スババパン!!! 中条省平 (学習院大学教授) 表現の最前線を仏文学者・ちゅーじよー先生がぶった斬る！ ISBN 4-921146-90-X ¥2800</p>	<p>ルーン文字の探究 ラルフ・W・V・エリオット著/吉見昭徳 (明治学院大学名誉教授) 訳 ルーン文字碑文と古英語文学との関連。 ISBN 978-4-86110-183-0 ¥4286</p>



<p><b>古英語詩を読む</b> —ルーン詩からペーオウルフへ 吉見昭徳 (明治学院大学名誉教授) 貴重な原典を併載し、試訳。 ISBN 978-4-86110-135-9 ¥4000</p>	<p><b>Bowulf</b> 橋本修一 (千葉工業大学教授) 「魔女」「怪物」「龍」などのテーマで読みとく。(英文) ISBN 978-4-86110-060-7 ¥2000</p>	<p><b>原典対照『ペーオウルフ』読解</b> 長谷川寛 (元日本大学教授) 原文を参照しながら味読できる画期的一冊。 ISBN 978-4-86110-230-1 ¥9000</p>	<p><b>『ペーオウルフ』とその周辺</b> —忍足欣四郎先生追悼論文集 唐澤二友 (駒澤大学教授) 編 大家の学恩に感謝し、36名が寄稿。 ISBN 978-4-86110-190-8 ¥8000</p>	<p><b>ラフカディオ・ハーンとジェイムズ・トムソン</b> —「四季」をめぐる 先川暢郎 (拓殖大学教授) 両者に共通するケルト性を明らかにする。 ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333</p>	<p><b>ヘンリー・フィールディング伝</b> 澤田孝史 (東京国際大学教授) その奔放な生涯と、虚栄と偽善に満ちた当時の社会背景を克明に描き出す。 ISBN 978-4-86110-231-8 ¥4286</p>	<p><b>見えないものを見る力</b> —ケルトの妖精の贈り物 風呂本武敏 (愛知学院大学教授) 妖精の国アイルランドの文化・歴史。 ISBN 978-4-86110-094-9 ¥2190</p>	<p><b>桃源郷とエトピア</b> —陶淵明の文学 伊藤直哉 (桜美林大学教授) 田園詩人、隠逸詩人の扱めども尽きぬ味わい。 ISBN 978-4-86110-218-9 ¥2667</p>	<p><b>平家物語</b> —装置としての古典 高木信 (相模女子大学准教授) ナショナルリズムと古典の関係とは。性・死・共同体をめぐる物語解釈。 ISBN 978-4-86110-139-7 ¥4600</p>
<p><b>ディケンズ、フォースター、オースティン</b> —いまに生きるイギリス小説 藤田永祐 (獨協大学名誉教授) ドストエフスキーや漱石にも論及。 ISBN 978-4-86110-154-0 ¥2200</p>	<p><b>英詩に魅せられ</b> —エリオットからラーキンまで 堀田三郎・犬飼誠 共編 〈しろうと目録〉で詩を愉しむ。 ISBN 978-4-86110-305-6 ¥2476</p>	<p><b>チップス先生の贈り物</b> —英文学ゆかりの地を訪ねて 長井那智子 (エッセイスト) 作家の生家や物語の舞台などをめぐる。 ISBN 978-4-86110-115-1 ¥1500</p>	<p><b>ヒースの丘から</b> —友、旅、暮らしの歳時記 山口弘恵 (武蔵野大学名誉教授) 英文学者が過ぎし日思いながら綴る。 ISBN 978-4-86110-186-1 ¥1800</p>	<p><b>私たちの英米文学シアター</b> —タカラヅカから映画まで 山口弘恵 (武蔵野大学名誉教授) 舞台や映画における〈男と女〉の文学論。 ISBN 4-86110-003-8 ¥1800</p>	<p><b>オーウェル文学の源流を求めて</b> —その想像的創造力の源泉 高橋鍾 (宮崎大学教授) 内在する「読み」の可能性を読み解く。 ISBN 978-4-86110-170-0 ¥2800</p>	<p><b>Decoding Paul Muldoon:</b> <b>Poetics and Politics</b> 奥田良二 (東海大学教授) 隠された政治性を読み解く。(英文) ISBN 978-4-86110-176-2 ¥2500</p>	<p><b>虫曼荼羅</b> —古典に見る日本人の心象 岩下均 (目黒大学教授) 古典文学に登場する虫の分析から、日本人の心象に迫る！ ISBN 4-86110-004-6 ¥2800</p>	<p><b>マリー・ダグー</b> —19世紀フランス伯爵夫人の孤独と熱情 坂本千代 (神戸大学教授) リストとの熱愛で名を残す女性の生涯。 ISBN 4-86110-042-9 ¥2200</p>
<p><b>神の箱</b> —ダビデとその時代 磯部隆 (名古屋大学名誉教授) 古代イスラエルの王とその時代を描写する一大歴史小説。 ISBN 4-86110-036-4 ¥3800</p>	<p><b>啓蒙と反動</b> 青地伯水 (京都府立大学教授) 編 独文学作品を中心に啓蒙と反動的思想のせめぎ合いの歴史に新たな光を当てる。 ISBN 978-4-86110-362-9 ¥3000</p>	<p><b>荒野へ</b> 鮎川信夫と「新領土」 中井農 (同志社大学名誉教授) 雑誌『新領土』の全バックナンバーと同人たちの書簡、日記を精査。 ISBN 978-4-86110-096-3 ¥9333</p>	<p><b>こんにちにはチエホフ!</b> —三つの短編を訪ねる 村手義治 (元創価大学教授) 編訳 新しいスタイルの作品論と翻訳。 ISBN 978-4-86110-279-0 ¥2000</p>	<p><b>龍の星霜</b> —異端の劇作家 青江舜二郎 大嶋拓 (映画作家) 長男である映画作家がドラマチックに描く劇作家の生涯。 ISBN 978-4-86110-274-5 ¥1500</p>	<p><b>法隆寺</b> 青江舜二郎 (劇作家) 修羅として生きた太子の人間像を浮き彫りにする幻の戯曲。 ISBN 978-4-86110-225-7 ¥2800</p>	<p><b>鷗外・漱石</b> —ライカリズムの起源 大石直記 (明治大学教授) 「近代」を問いつけた思想家として鷗外・漱石を読む。 ISBN 978-4-86110-175-5 ¥5600</p>	<p><b>長塚節</b> 「土」 —鈴木大拙から読む 安田速正 (農業従事者) 漱石も絶賛した近代日本文学の異端児、長塚節の宗教性に迫る！ ISBN 978-4-86110-252-3 ¥2200</p>	

文学

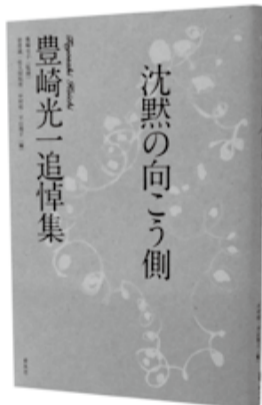


**幻想と怪奇の英文学**  
東雅夫 (アンソロジーリスト、評論家) 評議家  
下楠昌哉 (同志社大学教授) 編  
四六判上製・四一〇頁  
ISBN 978-4-86110-404-6 ¥2700

◆「分身—ジェイムズ・ホッグと芥川龍之介」「アン・ラドクリフ」「イタリアの惨劇」における幻想性と怪異感」「クローン人間創世記—カスオ・インシグロの「わたしを離さないで」など、12の論考！

◆巻末に、幻想文学をより深く愉しむための「ブックガイド」を収録。

純文学とサブカルチャーの壁を越え、幻想文学をこれまでにない切り口で読む！



**沈黙の向こう側** —豊崎光一追悼集  
豊崎令子 監修／岩崎誠、佐久間和男、中村裕、平山規子 編  
日本におけるポストモダン思想受容の先駆となった仏文学者、豊崎光一。没後二五年を記念し、蓮實重彦氏、菅野昭正氏、清水徹氏ほか、ゆかりの深い諸氏が思いを寄せる書き下ろしの追悼文に加え、病没当時発表された追悼エッセイ、書評を集める。人間味にあふれた素顔が垣間見られる、天才的仏文学者・豊崎光一へのオマージュ。  
ISBN 978-4-86110-370-4 ¥3048



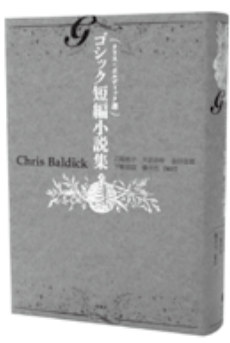
**デデムシ** 新美南吉詩歌集  
石川勝治 (長崎県立大学名誉教授)・斎藤卓志 (民俗学者) 編  
二九歳の若さで死去した童話作家・新美南吉。死と隣り合わせで生きる南吉は、いのちの深さと奇跡を心やさしく訴える。東日本大震災以後、既存の詩集にあきたらなくなった編者が、今だから読みたい詩歌を再編集。詩・童謡62篇、短歌32首、俳句41句。南吉の「こころ」をキーワードに選択した、珠玉の短詩形文学集。  
ISBN 978-4-86110-406-0 ¥1800E



**小作人とアザラシ女**  
—スコットランドのいつたえ  
ジュニチ・ハミルトン 著／先川暢郎 (拓殖大学教授)・橋本修一 (千葉工業大学教授) 訳  
ときに恐ろしく、ときにユーモラスな悪魔から、巨大怪獣、妖精、盗賊、魔女、はては邪悪な人殺しまで：ケルト的想像力がありなす、冒険と不思議と勇気にあふれる、めくるめく物語世界！  
ISBN 978-4-86110-408-4 ¥1500



**エルビー・メルゲンと七つの太陽**  
—モンゴルのいつたえ集  
塩谷茂樹 (大阪大学教授) 編訳／Ya・バダムハンド (日本学術振興会外国人特別研究員) コラム執筆  
遊牧民が古くから語りついできた10のむかしばなし。総ルビで子どもも大人も楽しめる！  
ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600



**クリス・ホルディック選**  
**ゴシック短編小説集**  
石塚則子 (同志社大学教授) 他 編訳  
レ・ファニユアカーターなど、一八世紀から二〇世紀までの三三編を訳出。ゴシック小説の系譜を一望できる最良のアンソロジー！ 日夏耿之介による抄訳「アッシュア屋形崩るるの記」を付録として収録。  
ISBN 978-4-86110-298-1 ¥3500



<p><b>横浜の時を旅する</b> —ホテルニューグランドの魔法 山崎洋子 (作家) マッカーサー、チャップリン、裕次郎、大作家らが泊まった一流ホテル。横浜を愛するミステリー作家が、その魅力と楽しみ方を教えます。 ISBN 978-4-86110-296-7 ¥1600</p>	<p><b>モーツァルトの息子</b> ジャック・トゥルニエ著／高井道夫 (元上智大学教授) 訳 〈人間〉モーツァルト父子を描き出す。 ISBN 978-4-86110-242-4 ¥2200</p>	<p><b>父のふるさと—秋田往来</b> 三浦衛 (春風社代表) 父の目をおしてたちあがる、故郷の風景、ひと、くらし、農事。 ISBN 978-4-86110-243-1 ¥1905</p>	<p><b>詩歌・俳句</b></p>	<p><b>写真・音楽・芸術</b></p>	<p><b>九十九里浜</b> 小関与四郎 (写真家) 九十九里で生まれ育った著者が半世紀にわたり撮りつづけた写真二〇八点。昭和三〇〜四〇年代を中心に、日本の原風景が甦る。時代のうねりのなかでたくましく生きる人々を写す写真集。 ISBN 4-86110-012-7 ¥15000</p>
<p><b>ことばのポトラック</b> 大竹昭子 (作家) 編 3・11以後、詩人、作家、写真家が東京・渋谷のライブハウスに「持ち寄り(ポトラック)」、発表した新作詩・エッセイ・小説・写真のアンソロジー。谷川俊太郎、ル・クレジオほか豪華な執筆陣！ ISBN 978-4-86110-310-0 ¥1800</p>	<p><b>パリの小鳥売り</b> ロベール・ブラジヤック著／高井道夫 (元上智大学教授) 訳 はかなく切ない余韻を残す幻の傑作。 ISBN 978-4-86110-250-9 ¥2200</p>	<p><b>出版は風まかせ—おとぼけ社長奮闘記</b> 三浦衛 (春風社代表) 創業から十年を振り返る。書物への愛たつぷりの、涙と笑いのエッセイ集。 ISBN 978-4-86110-193-9 ¥1300</p>	<p><b>谷川健一全歌集</b> 谷川健一 (民俗学者・歌人) 歌人・民俗学者の歌業を集成。既刊歌集『海の夫人』『青水沫』『海境』の全作品に加え、未発表作を多数収録。独自の歌風によって詠い上げられる、見えないものへの憧憬と祈り。 ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800</p>	<p><b>北上川</b> 橋本照嵩 (写真家) 木村伊兵衛をして「臭ってくる」と言わしめた伝説の写真集『警女』のカメラマンが、故郷の原風景と人々の暮らしを深い愛情と洞察力をもち半世紀かけて写しとった記録。 ISBN 4-86110-035-0 ¥3333</p>	<p><b>かぼちゃの下で</b> —ウガンダ 戦争を生きた子どもたち 桜木奈央子 (写真家) 写真文／伊藤氏貴 (明治大学教授) 解説 「民族同士の同士討ち」により数十万人の死者を出した過去を抱えながら、元気に生きる子どもたちの姿を映し出す。 ISBN 978-4-86110-259-2 ¥1800</p>
<p><b>スウェーデン民話名作集 全4巻</b> 蘇下紘 (元駒澤大学教授) 訳 人々のさだめと神の救い、魔女や動物たちがおりなす魔法と幻想の世界。 I ISBN 978-4-86110-246-2 II ISBN 978-4-86110-288-2 (口切) III ISBN 978-4-86110-339-1 IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻 ¥1905</p>	<p><b>ショートカットの女たち</b> パトリス・ルコント著／桑原隆行 (福岡大学) 訳 名監督が放つ、おかしな婚活小説！ ISBN 978-4-86110-277-6 ¥2000</p>	<p><b>南海物語</b> ジャック・ロンドン著／深沢広助 訳 南の海を舞台にくり広げられる冒険と残酷と滑稽の物語集！ ISBN 4-86110-070-4 ¥2600</p>	<p><b>風の想い—奈津</b> 松永澄夫 (立正大学教授) 哲学者が書いた、せつない詩Ⅱ小説。小椋佳氏、山根基世氏推薦。 ISBN 978-4-86110-378-0 ¥1500</p>	<p><b>長唄の世界へようこそ</b> —読んで味わう、長唄入門 細谷朋子 (十文字学園女子大学短期大学部有期助手) 長唄の歌詞に魅了され、自らも三味線を嗜む若手研究者による、現代人のための長唄入門！ ISBN 978-4-86110-400-8 ¥3400</p>	<p><b>ドアの映画史</b> —細部からの見方、技法のリテラシー 吉田眸 (京都産業大学教授) ドアは内開きか、外開きか？さりげない細部の演出や技法に、映画を読み解く鍵がある。ストーリー中心主義を超え、映画の魔法に迫る。 ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800</p>
<p><b>わしといたずらキルディーン</b> マリー女王著／長井那智子 (エッセイスト) 訳 おてんばが過ぎて、国のはずれの高い塔に閉じ込められてしまったキルディーン姫を厳しくしつけるのは、怖くて大きなわしの群れ。名作「わし姫物語」新訳！ ISBN 978-4-86110-153-3 ¥1800</p>	<p><b>空に上がったハイエナ</b> —ケニア・キクユの民話集 杜由木 キクユ族が語り継いできた大切な物語。 ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600</p>	<p><b>愛の叙事詩—パルダイヤン物語</b> —シエル・ゼヴァコ著／鈴木悌男 (神戸松蔭女子学院大学名誉教授) 訳 サルトルが愛した冒険活劇！ ISBN 978-4-86110-223-3 ¥2800</p>	<p><b>邂逅</b> 岩田澄江 キリスト教信仰を支えに語りだされる、一女性の日々よるこび、悲しみ、希望。 ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952</p>	<p><b>風景は光に揺れて</b> 土屋千鶴 (専門学校講師) 新たな世界を言葉によって構築しようとする意欲作品群。 ISBN 978-4-86110-293-6 ¥1429</p>	<p><b>ただしいジャズ入門</b> 中条省平 (学習院大学教授) 膨大なディスクを聴きあさることで見えてくる、ジャズ一〇〇年の歴史。永遠の名盤から埋もれた佳作珍品まで二〇〇枚以上紹介、最強のジャズ参考書！これ一冊であなとも正しいジャズ・ファン。 ISBN 4-86110-057-7 ¥1600</p>
<p><b>アイリッシュ・ハーブの調べ</b> —ケルトの神話集 マリー・ヒューニー著／大野光子 監修／河合利江・河口和子 訳 囚われの姫、邪悪な巨眼の魔王、知恵の鮭、神々の壮大な闘争。ファンタジーの源泉「ケルト神話」を、やさしい物語に。 ISBN 978-4-86110-124-3 ¥1800</p>	<p><b>魔法師のたいこ</b> レナ・ラウライヤネン著／荒牧和子 訳 フィンランド民話を題材にした静謐なファンタジー。 ISBN 4-86110-075-5 ¥1500</p>	<p><b>フォーの国のことば</b> —ベトナムを学び、ベトナムに学ぶ 富田健次 (元大阪大学教授) ベトナム語教育者によるエッセイ集。 ISBN 978-4-86110-352-0 ¥1905</p>	<p><b>詩集 猊のマラソン</b> いとうのぼる 生るときが澄み、したたる言葉が詩となる。ゆたかなときへ誘う詩群。 ISBN 978-4-86110-270-7 ¥1300</p>	<p><b>フルナン・レジエ オブジエと色彩のユートピア</b> —キュビスムからフランス人民戦線まで 山本友紀 (京都嵯峨芸術大学ほか非常勤講師) 抽象絵画、版画、舞台芸術、映画、建築、装飾など多彩な創作活動を、歴史・社会・政治などと関連づけながら分析・考察。 ISBN 978-4-86110-405-3 ¥4500</p>	<p><b>たのしいジャズ入門</b> 寺島靖国 (ジャズ喫茶「メグ」店主) 定番ピアノ・トリオから最新ラテン・ジャズ、マニアも唸る知られざる絶品まで、あなたのハートにするりとしみこむ名曲名盤の数々。ジャズの達人がエスコートします。もうジャズは怖くない！ ISBN 4-86110-056-9 ¥1600</p>
<p><b>カフェの女主人</b> レイモン・ジャン 著／桑原隆行 (福岡大学教授) 訳 「あなたとセックスさせてくれたら、10万フランお支払いします」。怪しげな手紙がカフェのおかみの元に…。ぴりりとひねりの効いたオトナのフランス小説。 ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200</p>	<p><b>みらいのゆくすえ</b> しりあがり寿 (漫画家) 3・11後の日本と世界のこれからをゆるく予想する、洞察に満ちた絵文集。 ISBN 978-4-86110-294-3 ¥1600</p>	<p><b>気がつけばアメリカ人</b> —二つの祖国に生きて 蒲生靖子 激動の軌跡！一女性の明るい滞米記。 ISBN 978-4-86110-392-6 ¥1500</p>	<p><b>山桜花</b> 廣利千恵子 重症心身障害児の養護教育障害児教育に身を挺した著者の遺作。 ISBN 4-86110-077-1 ¥1429</p>	<p><b>クジラ解体</b> 小関与四郎 (写真家) 大好評を博した『九十九里浜』の写真家による迫真のドキュメンタリー。和歌山・田浦・九十九里浜(千葉)、太地(和歌山)、鮎川(宮城)で二四年にわたってクジラと共に生きる人々と暮らしを撮影。 ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000</p>	<p><b>深読み映画論—『暗い日曜日』の記憶</b> 大野真 (大妻女子大学教授) 映画の魅力、それはディテールを味わい尽くすことにある。シュペール、宮崎駿、ヴェンダースなど五つの作品をこれまでになく視角から読み解き、新たな感動をもたらす濃密な作品論集！ ISBN 978-4-86110-198-4 ¥1905</p>



**ドイツ・ロックの世界**  
若山俊介 (手塚宮大学教授)  
ミュージシャンとアルバムを中心に、ドイツ・ロック&ポップスの流れを紹介。音楽好き、ドイツ好き必読の一冊。歌詞を通して魅惑と興奮にみちたドイツの歴史と社会もよくわかる。  
ISBN 4-86110-074-7 ¥1800

**アフリカン・ポップスの誘惑**  
多摩アフリカセンター編  
コンゴ、タンザニア、ケニアをはじめ各国のヒット曲を紹介。歌詞からみえてくるアフリカ流スローライフの極意。頭くらから腰ふりふり、きしんだ心も躍りだす魅惑のアフロ・ミュージック！  
ISBN 978-4-86110-108-3 ¥1600

**アンヘリカの選択**  
丸岡永乃 (画家・詩人)  
仕立て職人アンヘリカが夢をかなえる物語を豊かな色彩で描き出す。  
ISBN 978-4-86110-337-7 ¥1800

**君にシロツメクサの冠を**  
丸岡永乃 (画家・詩人)  
こころを吹き抜ける日々の想いをつづいた清新な詩画集。  
ISBN 978-4-86110-336-0 ¥1200

**ハラに染みるぜ！天才ジャズ本**  
安原顯 (スパーエディター)  
名作は大絶賛、駄作はぶっ叩く！怒涛の超絶激刺音楽エッセイ。  
ISBN 4-921146-62-4 ¥2800

**フランス・ミュージカルへの招待**  
渡辺諒 (早稲田大学教授)  
音楽と踊りが一体となった楽しさいっぱいのスペクタクル劇が目白押し。  
ISBN 978-4-86110-344-5 ¥2000

**海中快晴**  
大門直樹  
ページを繰れば、そこは目も眩なるサカナたちの世界。西伊豆や南西諸島などで撮影した約一五〇枚を収録。(品切)  
ISBN 978-4-86110-344-5 ¥2000

**邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録**  
松本多津男 (社会学者)  
書籍、漫画、紙芝居、カセットテープ、など五〇〇点以上を網羅。  
ISBN 978-4-86110-276-9 ¥4600

**ガリヴァー旅行記 蔵書票集**  
松本多津男 (社会学者) 編  
紙の宝石ともいわれる蔵書票一〇枚を美麗映画に収める愛蔵版！  
(直販のみ) ¥2500

**OTHER VOICES 東大全共闘**  
68-70  
平沢豊 (編集者)  
当時東大生だった著者が撮った全共闘。  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

**インド・まるごと多聞典**  
矢萩多聞 (画家・装丁家)  
注目の画家・装丁家、初の対談集。谷川俊太郎氏推薦！  
ISBN 4-921146-24-1 ¥2381

**観光**  
佐藤将人 (神奈川新聞記者)  
神奈川新聞に好評連載中のコラムが一冊の本になった！笑い、涙と感動を胸に奮闘する横浜の面々をユーモアたっぷりに紹介。  
ISBN 978-4-86110-316-2 ¥1500

**日本初の海外観光旅行**  
一九六日間世界一周  
小林健 (明海大学教授)  
観光ビジネスへのヒントがここにある！  
ISBN 978-4-86110-178-6 ¥3200

**イギリスの田舎を歩く**  
ピーター・ミルワード 著／橋本修一 (千葉工業大学教授) 訳  
観光客の知らないとおきのおきのイギリス。  
ISBN 978-4-86110-311-7 ¥1429

**瀬戸内、鳥瞰の旅ー風景の奥を読む**  
伊藤松雄 (四国学院大学教授)  
秘められた歴史をひもときながら、風景をあじわいなおす。  
ISBN 978-4-86110-360-5 ¥1800

**おばさん！辺境に行く**  
外川洋子  
六五歳を過ぎて海外旅行の魅力にとりつかれ各国を旅行。  
ISBN 978-4-86110-100-7 ¥1500

**おばあちゃん！世界遺産に行く**  
外川洋子  
イラン、イスラエル、ブータン、ラオス。おばあちゃんの世界旅行はつづく。  
ISBN 978-4-86110-249-3 ¥1500

**おばあちゃん！豚と木に登る**  
外川洋子  
「ふつうの日本人のおばあちゃん」が詩聖タゴールを慕って旅に出た！  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

**観光地の賞味期限**  
「暮らしと観光」の文化論  
古池嘉和 (富山大学教授)  
内発的・持続的な観光地作りへの提言！  
ISBN 978-4-86110-120-5 ¥1800

**旅ともてなしの文化論**  
京都府立大学 旅ともてなしの比較文化研究会 編  
サービス過剰な今日の観光業を見つめ直す。(品切)  
ISBN 4-86110-021-6 ¥1800

**にぎわい文化と地域ビジネス**  
相原憲一 (静岡大学教授) 編  
持続する地域ビジネスを成功させた先進的事例を紹介・分析する。  
ISBN 4-86110-021-6 ¥1800

**ガイドブック的！観光社会学の歩き方**  
遠藤英樹 (奈良県立大学教授)  
10の観光地をツアー。  
ISBN 978-4-86110-126-7 ¥2000

**おばさんベトナム留学記**  
中嶋弘子  
「おばさん」がベトナムで見たものは？一大決心の底にある鎮魂の想い。  
ISBN 978-4-86110-297-4 ¥1500

**山ふたりー鈴鹿・大峰・四国・山陰編**  
三輪敏広・三輪和恵  
山ガールならぬ山夫婦が四季折々の山をゆく。三池岳、石鎚山、剣山などの記録。  
ISBN 978-4-86110-382-7 ¥2000

**英和の森の植物たち**  
一感じる、遊ぶ、食べる  
中池敏之・川崎末美 (東洋英和女学院大学教授)  
五六五種類に及ぶ情報満載の植物図誌。食用植物の料理法や保存法など、実生活で利用できる情報も掲載。  
ISBN 978-4-86110-321-6 ¥2600

**英国発クラウンドワーク**  
「新しい公共」を実現するために  
渡辺豊博 (都留文科大学教授・松下重雄 (金沢大学准教授)  
議論よりもまずアクション。クラウンドワーク三島による先進的・創造的な地域再生のノウハウが満載。  
ISBN 978-4-86110-322-5 ¥1500

**富士山学への招待**  
「NPOが富士山と地域を救う」  
渡辺豊博 (都留文科大学教授)  
し尿対策にはバイオトイレ設置、ゴミ放置問題には清掃活動の実施など、NPOパワーによるユニークな富士山再生活動の全貌を紹介。  
ISBN 978-4-86110-322-5 ¥1500

**失敗しないNPOークラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ**  
渡辺豊博 (都留文科大学教授) 編著  
経験知と専門知による実践的ノウハウ。  
ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500

**三島のジャンボさん**  
「ミスター・クラウンドワーク」  
渡辺豊博 (都留文科大学教授)  
先進的NPO事務局長の半生！  
ISBN 978-4-86110-333-2 ¥1429

**世界遺産の自然と暮らし**  
今井郎 (関西学院大学教授)  
フィールドワークで得たデータから「世界遺産」の実態に迫る！  
ISBN 4-921146-98-5 ¥1905

**横浜市立大学 新叢書**

**普仏戦争ー籠城のバリ132日**  
松井道昭 (横浜市立大学名誉教授)  
戦争は突然やってくる。旧来型の戦争(王朝戦争)から現代型の戦争(国家戦争)への橋渡しとなった普仏戦争の発端から帰結までを詳細にたどり、戦争がもつ偶発性と普遍性を描き出す。  
ISBN 978-4-86110-373-5 ¥3000

**読んで愉しむイギリス文学史入門**  
白井義昭 (横浜市立大学名誉教授)  
古英語詩「ペーオウルフ」から《Tud世代のダイケンズ》、ヘス・リークルズまで。多彩な魅力に満ちたイギリス文学、その背景となる時代・文化と関連づけながら学べる最良のテキスト。  
ISBN 978-4-86110-372-8 ¥1500

**過去の再演を越えてー精神分析的ロール・プレイング**  
川幡政道 (横浜市立大学名誉教授)  
演劇的手法で抑圧された過去を再現する精神分析的ロール・プレイング。引きこもり、登校拒否などの例をとりあげ、理論と実践の両面からその可能性を探る。  
ISBN 978-4-86110-374-2 ¥3000

**天狼俳句の英訳**  
古平隆 (横浜市立大学名誉教授)  
天狼俳句の英訳ー誓子・敏雄・綾子  
古平隆 (横浜市立大学名誉教授)  
一句二頁とし、左頁には、俳句、英訳俳句、季語・註を、右頁には、俳人の自註または著者の鑑賞文を掲載。句を鑑賞する愉しみを日本語と英語の両方から味わえる書。  
ISBN 978-4-86110-384-1 ¥3000

**立教大学 人文叢書**

**1 人文科学の現在I**  
浦野聡・深津行徳 編著  
ISBN 4-86110-063-1 ¥2200

**2 文学の基礎レクシオン**  
後藤和彦 編著  
ISBN 4-86110-087-9 ¥2200

**3 肖像と個性**  
藤巻明・浦野聡・小嶋菜温子 編著  
ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200

**4 人文科学の現在II**  
菅谷憲典 編  
ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2200

**5 書簡を読む**  
桑瀬章二郎 編  
ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

石碑、直筆原稿、楽譜、絵画、写真、書簡など、あらゆる媒体をテキストとしながら、さまざまな時代や地域における人間精神の多彩な働きを考究する横断的の文学の試み。全五巻！

**関連書籍**  
古代文字史料の中心性と周縁性  
立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津行徳・浦野聡 編著  
地方の遺存記録史料が中央の歴史を逆照射する。英国、韓国、日本という異文化圏の学者二人による世界に例を見ない研究報告集。  
ISBN 4-86110-067-4 ¥3500



# 政治・経済



古代オリエント世界像からの脱出  
—ピラミッド・テキストから原典キリスト教までの神話・宗教・政治  
磯部隆 (名古屋大学名誉教授)  
メソポタミア文明、出エジプト、古代エジプト、第二イザヤを接続し、思想・表現の類似性と差異性をとらえる。  
ISBN 978-4-86110-137-3 ¥2385

党人 河野 一郎最後の十年  
河野洋平 (前衆議院議長) 監修 / 小枝義人 (千葉科学大学教授 / 拓殖大学客員教授) 著  
希代の豪腕政治家の波乱に満ちた晩年と魅力あふれる言動。関係者へのインタビュー、秘蔵資料から足跡を丹念に追う。息子・河野洋平氏が監修。  
ISBN 978-4-86110-212-7 ¥1714

近代政治思想の基礎  
—ルネッサンス、宗教改革の時代  
クエンティン・スキナー 著 / 門間都喜郎 (京都精華大学名誉教授) 訳  
膨大な文献の読解によって、近代に至る西洋政治思想の形成と展開をつむぎだす名著、待望の翻訳！  
ISBN 978-4-86110-181-6 ¥7600

アメリカの対日通貨政策の形成  
—1971-2003年の日米通貨交渉を事例として  
増永真 (文京学院大学非常勤講師)  
為替相場の調整をめぐる日米間交渉のプロセスとは？ スミソニアン会議以降の八つの事例を、比較分析する。  
ISBN 978-4-86110-359-9 ¥2700

フランス帝国主義と中国—第一次世界大戦前の中国におけるフランスの外交・金融・商工業  
篠永宣孝 (大東文化大学教授)  
フランスはいかに中国へ侵入していったか？ 第一次史料から利権争奪の交渉過程と結果を跡づける。  
ISBN 978-4-86110-136-6 ¥5714

世界金融危機 日中の対話  
—内・人民元・アジア通貨金融協力  
上川孝夫 (横浜国立大学教授)・李曉 (吉林大學教授) 編  
国際通貨体制と国際金融の改革をめぐる議論を整理し、アジア通貨金融協力の現状と今後を展望する。日中共同企画！  
ISBN 978-4-86110-203-5 ¥3500

# 総記・辞典事典

異文化コミュニケーション事典  
石井敏・久米昭元 (編集代表) / 浅井亜紀子・伊藤明美・久保田真弓・清ルミ・古家聡 (編集委員)  
文化とコミュニケーションにかかわる広大な領域をカバー！ 辞書と解説書としての機能を一冊にまとめた画期的事典。  
ISBN 978-4-86110-333-9 ¥7600

現代日本語モンゴル語辞典  
橋本勝 (大阪大学名誉教授) / エレフジャブ (モンゴル国立科学アカデミー言語文学研究所研究員)  
現代モンゴル語を知るための必須アイテム。日蒙辞典最大の語彙数、見出し語一万八五〇〇—  
ISBN 4-921146-33-0 ¥15000

ダンテ神曲原典読解語源辞典  
(地獄) (煉獄) (天国)  
福島治 (東京女子大学教授)  
原典と英訳を全文併記。大江健三郎氏・中条省平氏・柳瀬尚紀氏推薦。(英文)  
1 ISBN 4-921146-77-2  
2 ISBN 4-921146-78-0  
3 ISBN 4-921146-79-9 各巻 ¥46000

スペイン語語源辞典  
太田強正 (神奈川大学教授)  
見出し語約七三〇〇。日本初のスペイン語語源辞典。  
ISBN 978-4-86110-332-2 ¥5200

「新自由主義」をぶっ壊す  
青木育志 (研究者)  
格差を肯定する「新自由主義」から、平等に配慮した「自由主義」への道を示す。  
ISBN 978-4-86110-226-4 ¥1600

気功  
背骨ゆらゆら健康法  
—自分でできるお手軽気功術  
朱剛 (禅密気功師)  
コツは背骨を揺らすこと！  
ISBN 978-4-86110-127-4 ¥1200

気功瞑想でホッとする  
朱剛 (禅密気功師)  
日本で二〇年間、気功と瞑想を教えてきた著者がその真髄を分かりやすく解説。  
ISBN 978-4-86110-189-2 ¥1800

# 言語



ジョンソンと「国語」辞典の誕生  
—十八世紀巨人の名言・金言  
早川勇 (愛知大学教授)  
四六判上製・四〇六頁  
ISBN 978-4-86110-399-5 ¥2500

日本の英語辞書と編纂者  
愛知大学文学部書局編  
早川勇 (愛知大学教授)  
幕末から戦後までの刊行状況を網羅。  
ISBN 4-86110-064-X ¥6600

ニュージールランド百科事典  
あらゆる情報を網羅する初の本格的辞典。英語索引付き。  
ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333



ベルベル語とティフィナグ文字の基礎  
—タリーフット語 (Tifit) 入門  
石原忠佳 (創価大学教授)  
A5判上製函入・二二六頁  
ISBN 978-4-86110-394-0 ¥4266

人生、血液型。  
前川教授の人生、血液型。  
—血液型が信じられる34の理由  
前川輝光 (亜細亜大学教授)  
四六判並製・二三四頁  
ISBN 978-4-86110-396-4 ¥1500

「俗語」から「国家語」へ  
—スペイン黄金世紀の言語思想史  
岡本信昭 (京都外国語大学教授)  
ネプリハ「カステイリヤ語文法」以降の議論を整理。俗語としてのカステイリヤ語は、いかにしてスペイン語という国家語に変貌したのか。  
ISBN 978-4-86110-291-2 ¥3333

言語アートの作成と評価  
—あたらしい外国語教育のために  
C・オルダーソン、C・クラツファム、D・ウォール著 / 渡部良典 (上智大学教授) 編訳  
コンピュータ処理などの技術的側面だけでなく、利用する人間の側面も重視し、テスト開発の方法を批判的に検討する。  
ISBN 978-4-86110-201-1 ¥2800

フェイス相互作用理論  
—日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークを捉えよう  
横溝環 (フェリス学院大学非常勤講師)  
人はいかにして自己像を獲得するいは回避するの。日本語学習者間の事例から検証。  
ISBN 978-4-86110-286-8 ¥4667



ビジネスドイツ語  
—レター&Eメールの書き方と例文  
石居龍一 (GENEEX Systems GmbH 非常勤講師)  
ホテルの子約や売り込みレター、督促など、ビジネスですぐに使える六七の例文と簡潔な解説で様々なシーンに対応。ドイツのビジネスルールも紹介。  
ISBN 978-4-86110-377-3 ¥1905

啓蒙思想下のジョンソン辞書  
—知の集成を目指して  
早川勇 (愛知大学教授)  
ジョンソン辞書に引用された作品や作家の問題を引用数から考察し、18世紀英国の啓蒙思想のもとに位置づける。画期的辞書が物語る、ひらかれた「辞書史」。  
ISBN 978-4-86110-380-3 ¥5000

「新自由主義」をぶっ壊す  
青木育志 (研究者)  
格差を肯定する「新自由主義」から、平等に配慮した「自由主義」への道を示す。  
ISBN 978-4-86110-226-4 ¥1600



<p>言いさし発話の解釈理論 —「会話目的達成スキーマ」による展開 荻原雅佳子 (明海大学准教授) グライスなどの先行研究を批判的に継承しつつ、文末を省略した表現である「言いさし発話」を分析。人間が普遍的にも「会話目的達成スキーマ」を探究。 ISBN 978-4-86110-160-1 ¥4381</p>	<p>英語のルーツ 唐澤友 (駒澤大学教授) 「AnneのニックネームがなぜNancy?」「every day」は名詞が並んでいるのになぜ副詞扱い?」英語の歴史的發展をたどり、他言語比較によって、英語の「なぜ」がよく分かる! ISBN 978-4-86110-283-7 ¥2000</p>	<p>英単語のいのち 早川勇 (愛知大学教授) 「アダムのリング」って体のどこのこと? 英単語の意味語源を探る面白エッセイ。 ISBN 978-4-86110-217-2 ¥1800</p>	<p>英語になった日本語 早川勇 (愛知大学教授) mbosと梅干の関係は? などなど、ためになる英語トリビア! ミステリー小説よりも面白くことばの謎解き。(品切) ISBN 978-4-86110-594-4 ¥8476</p>	<p>教育 ワークシートで学ぶ 生徒指導・進路指導の理論と方法 林尚示 (東京学芸大学准教授・服部伴文・村木晃) ワークシートを活用することで『生徒指導提要』の理解を促す、教職を目指す学生のための実践的な生徒指導の入門書。 ISBN 978-4-86110-355-1 ¥2000</p>	<p>言語教育とアイデンティティとは の教育実践とその可能性 細川英雄 (早稲田大学名誉教授) 編 技術としての言語教育から、人間形成としての言語教育へ。日本語・国語・外国語の教育をいかに連携・再生させるか。学習の社会的・文化的意味を問いなおす。 ISBN 978-4-86110-289-9 ¥2800</p>
<p>ブラジル人のためのニッポンの裏技 —春らしに役立つ日本語便利帳 松田真希子 (金沢大学准教授) 著/ティエト・サレス・ジュニア 訳 使いたいときに使いたい言葉がすぐ引ける。日本で快適に過ごすための知恵や情報がいっぱい。工場などで使う用語も満載の「コミュニケーションツール」。(品切) ISBN 978-4-86110-235-6 ¥4600</p>	<p>Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II: What UG Residues, and Helen Keller 鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授) ヒトはいかにして言語を習得するか。レン・ケラーの例などを参照しながら、〈強い極小主義的テーゼ〉を探る。(英文) ISBN 978-4-86110-114-4 ¥7619</p>	<p>La transmission des savoirs : une analyse dynamique du discours 石川文也 (立教大学教授) 知と情報の伝達プロセスを解明。(仏文) ISBN 978-4-86110-302-5 ¥5524</p>	<p>L'interaction Exolingue : Analyse de Phenomenes Metalinguistiques 石川文也 (立教大学教授) 仏語習得とメタ言語のかかわり。(仏文) ISBN 978-4-86110-594-4 ¥8476</p>	<p>「ネイティブ」とよばれる日本語教師 —海外で教える母語話者日本語教師の資質を問う 平畑奈美 (滋賀大学准教授) 何のための、誰のための日本語教育か? 世界26カ国・地域、41名の日本語教師にインタビュー。教育現場の現状と課題。 ISBN 978-4-86110-390-2 ¥3500</p>	<p>戦前 感化・教護実践史 佐々木光郎 (静岡英和学院大学教授) / 藤原正範 (鈴鹿医療科学大学教授) 子供たちを導いた「学校外の学校」実践。 ISBN 4-921146-18-7 ¥4800</p>
<p>Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition 伊庭緑 (甲南大学教授) 単語の発音練習に先立つプロソディの訓練が自然な発音に有効なことを説明。(英文) ISBN 978-4-86110-235-6 ¥4600</p>	<p>Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II: What UG Residues, and Helen Keller 鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授) 幼児の第一言語習得の問題と、言語進化の問題を考察し、人間言語に迫る。(英文) ISBN 978-4-86110-300-1 ¥6667</p>	<p>Languages and Language Policies In Insular Southeast Asia 河原俊昭 (京都光華女子大学教授) 東南アジアでの言語政策を問う。(英文) ISBN 4-921146-64-0 ¥5950</p>	<p>私はどのような教育実践をめざすのか —言語教育とアイデンティティ 細川英雄 (早稲田大学名誉教授)・鄭京姫 (早稲田大学日本語教育研究センター常勤インストラクター) 編 言語活動主体のあり方を問いつつ、言語教育の意味と目的を捉えなおす試み。 ISBN 978-4-86110-379-7 ¥2800</p>	<p>子どもに心にとどく授業 —三重県桑名市立藤が丘小学校における六年 伊藤新司 (元桑名市立藤が丘小学校長) 編 授業が本物なら、子どもは生き生きする。 ISBN 978-4-86110-326-1 ¥2381</p>	<p>昭和戦前期の少年教護実践史(上・下) 佐々木光郎 (静岡英和学院大学教授) 不良の子らがいかに教育されたか。 上 ISBN 978-4-86110-330-8 下 ISBN 978-4-86110-331-5 各巻 ¥3500</p>
<p>第二言語学習と個別性 —ことばを学ぶ二人ひとり理解する 津田塾大学言語文化研究所言語学習の個別性研究グループ 編 出身国、年齢、ニーズ、目的が違うなど外国語習得にまつわる多様性への対応法を探る。 ISBN 4-86110-065-8 ¥1600</p>	<p>はじめの論文 —語用論的な視点で調査・研究する 田中典子 (清泉女子大学教授) 無理なく「初」論文・レポートが書ける! ISBN 4-86110-349-0 ¥1800</p>	<p>Indigenous Languages Revitalized 松原好次 (元電気通信大学教授) 少数派言語復権の途を探る。(英文) ISBN 4-921146-15-2 ¥5524</p>	<p>変革的知識人としての教師 —批判的教授法の学びに向けて ヘンリー・A・ジルー 著 / 渡部竜也 (東京学芸大学講師) 訳 権力にとって都合のいい人々を育てる場になってしまった教室の知を疑い、学校の在り方を変革する教師像を探る。 ISBN 978-4-86110-375-9 ¥5333</p>	<p>体当たり校長の学校づくり —8年間のニューズレター 横山芳春 (豊見城市立座安小学校校長) 民間人出身小学校長の奮闘記録。 ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2381</p>	<p>いのちを育む教育学 吉岡良昌 (東洋英和女学院大学教授)・大川洋 (国際基督教大学上級准教授) 自己肯定感を育む教育の理論と実践。 ISBN 978-4-86110-143-4 ¥2200</p>
<p>英語教育の実践 —日本人のための英語学習論 小谷悠紀子 (東京電機大学名誉教授) 英語を教えること、学ぶことの原点に立ちかえり、長きにわたる教育実践を総括。日本の大学における英語教育の課題と展望を示す。 ISBN 978-4-86110-364-3 ¥3800</p>	<p>The Pragmatics of Uncertainty 田中典子 (清泉女子大学教授) 語用論の視点から見る会話の「曖昧さ」。(英文) ISBN 4-921146-22-5 ¥5333</p>	<p>生物 コバタンの繁殖 —絶滅危惧種保存への挑戦 石川文也 (日本鳥学会会員) 種の保存のための方策、そして問題点とは何か? これまで明かされてこなかった繁殖の様子を詳細に記す本邦初のコバタン専門書! ISBN 978-4-86110-195-3 ¥2800</p>	<p>母の愛が奇跡を生む—発達の遅れに挑むライオン・ボックス学習法 立川勲 (元)はま児童文化研究所顧問) 編 画期的な自学習の学習法。 ISBN 978-4-86110-098-7 ¥1500</p>	<p>海峽を越えて —京畿高等女学校の思い出 太田孝子 (岐阜大学教授) 国策を越えて生きた人がいた! ISBN 978-4-86110-157-1 ¥2200</p>	<p>斎藤喜博研究の現在 横須賀薫 (十文字学園女子大学学長) 編 斎藤喜博の営為を次代に繋ぐ研究論考。子どもを未来を本気で考えるために。 ISBN 978-4-86110-314-8 ¥4600</p>
<p>英語教育の精神と実践 —「コミュニケーションから英米文学まで」 岡田善明 (日本大学講師) 英語を用いた教授法、生徒の評価法、聖書やシェイクスピアなどの精神文化を詳説。現職英語職員および英語教員を志す人のための、最新かつ最深いテキスト。 ISBN 978-4-86110-361-2 ¥1800</p>	<p>ウエブスター辞書と明治の知識人 早川勇 (愛知大学教授) 時代の黎明期にあって活躍した福沢諭吉、前島密、新島襄、内村鑑三、田中不二麿、棚橋一郎、大槻文彦ら著名な日本人でウェブスター辞書の恩恵をこうもっていない者はない。辞書はまさに懐刀であった! (品切) ISBN 4-921146-22-5 ¥5333</p>	<p>教師のゲートキーピング—主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けて ステイブン・J・ソントン 著 / 渡部竜也・山田秀和・田中伸・堀田諭 訳 米国社会科教育史における論争を展望し、教育の根本を押さえつつ、カリキュラムを柔軟に運用する教師像を模索する。 ISBN 978-4-86110-328-5 ¥2857</p>	<p>教師再生—石川県公立中学校における授業実践から 砂上昌一 (全国同和教育研究協議会役員) 編 〈再生〉をかけ、授業に苦闘した記録。 ISBN 4-86110-041-0 ¥1905</p>	<p>新版 教師養成教育の探究 横須賀薫 (十文字学園女子大学学長) 教師はいかに養成されるべきか? 教師養成教育の名著、待望の復刊。 ISBN 978-4-86110-245-5 ¥2200</p>	<p>実感から関係化へ —ある重度重複障害者と関わりつつ 遠藤司 (駒澤大学教授) 二五年間の関わりから見えてきたこと。 ISBN 978-4-86110-237-0 ¥2381</p>



**新版 生涯学習と地域社会教育**  
 末本誠 (神戸大学大学院教授) / 松田武雄 (名古屋大学大学院教授) 編  
 ISBN 978-4-86110-234-9 ¥2476

**教育の経済―成り立ちと課題**  
 三上和夫 (神戸大学名誉教授)  
 公的補助の不備、経済格差から生じる学歴格差等の問題。教育政策再考を促す！  
 ISBN 4-8-6110-049-6 ¥3200

**石貨の島へーヤップの教育今昔**  
 田中忠 (川崎市立坂戸小学校教諭)  
 「勇気とロマンの島」に憧れながら教育の本質を模索する、南の島探訪記。  
 ISBN 978-4-86110-265-3 ¥1500

**沈まざる未来をー人間と教育の論に歌と詩と句「冬雲」を加えて**  
 上田薫 (教育哲学者)  
 教育学真髓を伝える、著者「最後の」書。(品切)  
 ISBN 978-4-86110-076-3 ¥2600

**竹内レズンーライブ・アット大阪**  
 竹内敏晴 (演出家)  
 「からだ」が丸ごといきいきする、ユニークなワークショップ。  
 ISBN 4-86110-076-3 ¥2600

**増補「いい子」の非行**  
 一家裁の非行臨床から  
 佐々木光郎 (静岡英和学院大学教授)  
 「いい子」による非行問題を再提言。  
 ISBN 4-921146-91-8 ¥1800

**教育亡国を越えて**  
 小野四平 (宮城教育大学名誉教授)  
 教育改革に身を挺し、全国行脚をおこなった林竹二への渾身の回答。(品切)  
 ISBN 978-4-86110-169-4 ¥3000

**野外自然体験学習と理科教育**  
 ーよりよい指導のために  
 宮下治 (愛知教育大学教授)  
 計画や教材など実践的指導法を紹介。  
 ISBN 978-4-86110-169-4 ¥3000

**デューイー・人間性実現への教育**  
 ー米国カリキュラム開発を考える  
 海谷則之 (龍谷大学名誉教授)  
 教育荒廃が進む米国での改革を検証。  
 ISBN 4-921146-57-8 ¥2857

**幼児キャンプー雪の体験**  
 山梨幼児野外教育研究会 監修  
 指導二〇年の経験から「使える」野外教育の活動・指導事例を集成。  
 ISBN 4-921146-40-3 ¥1905

**お年寄りと話そう**  
 日野純子 (立教大学准教授)  
 簡単だけど大切な、お年寄りとの話しかた聞きた。20のコツを伝授。  
 ISBN 978-4-86110-168-7 ¥1600

**先生、いのちのことを教えてー引き揚げてから養護教諭へ**  
 引地ユリ  
 独自の性教育を行ってきた、壮絶な半生。  
 ISBN 978-4-86110-269-1 ¥952

**日本における外国人留学生と留学生教育**  
 鈴木洋子 (昭和女子大学特命教授)  
 外国人留学生の実態や教育変遷を分析。  
 ISBN 978-4-86110-268-4 ¥2800

**作法学の誕生**  
 山根一郎 (福山女学院大学准教授)  
 失われ、形骸化した作法の本来の意味を記号論により分析・批判する。  
 ISBN 4-921146-97-7 ¥2800

**心理**

**とをて 自由 厳え 自尊 超**  
 山形浩生 著  
 B・F・スキナー 著 / 山形浩生 訳  
 自由と尊厳を超えて  
 行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。二〇世紀の心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえして波紋を呼んだ名著、待望の新訳！  
 ISBN 978-4-86110-341-4 ¥2381

**自由と尊厳を超えて**  
 B・F・スキナー 著 / 山形浩生 訳  
 行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。二〇世紀の心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえして波紋を呼んだ名著、待望の新訳！  
 ISBN 978-4-86110-341-4 ¥2381

**自由と尊厳を超えて**  
 B・F・スキナー 著 / 山形浩生 訳  
 行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。二〇世紀の心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえして波紋を呼んだ名著、待望の新訳！  
 ISBN 978-4-86110-341-4 ¥2381

**スピリチュアル心理学入門**  
 石川勇 (相模女子大学教授)  
 精神分析、森田療法など、厳選された二二〇項目をやさしく解説。  
 ISBN 978-4-86110-179-3 ¥2095

**デイケアの心理学**  
 浮田徹嗣 (横浜市立大学准教授)  
 ロール・プレイングを利用した他者理解、終末期医療の意思決定などを論じる。  
 ISBN 978-4-86110-306-3 ¥3000

**看護ケアと共感的理解**  
 ー尺度の開発とコミュニケーションスキル  
 永野ひろ子 (カウセラー)  
 患者の視点に立つための接し方を提案。  
 ISBN 978-4-86110-307-0 ¥2667

**ココロのトリセツ**  
 佐賀枝夏文 (天谷大学教授)  
 ありのままのあなたをつつみ、なごませる、ココロのヒント集。  
 ISBN 978-4-86110-282-0 ¥1300

**環境心理学**  
 ー環境デザインへのパースペクティブ  
 植泉 (実践女子大学教授)  
 人間と環境の関わりを分析、展望を考察。  
 ISBN 4-86110-010-0 ¥2286

**ロール・プレイング**  
 ー即興劇による人間の探求と治療  
 川幡政道 (横浜市立大学名誉教授)  
 自発性の発見と訓練を促す手法と実践。  
 ISBN 978-4-86110-155-7 ¥2381

**見捨てられる不安**  
 ー家族と社会の現在  
 川幡政道 (横浜市立大学名誉教授)  
 病理で崩壊する現代の家族と社会とは？  
 ISBN 978-4-86110-158-8 ¥2200

**魂のかけら**  
 ーある物理学者の神秘体験  
 佐川邦夫  
 物理学者の魂を突き動かす神秘体験。  
 ISBN 978-4-86110-095-6 ¥1800

**心理学一梅津八三の仕事**  
 中澤恵江 (国立特殊教育総合研究所室長) 編  
 相互障害状況から相互補生へー。真に独創的な天才心理学者の仕事を集成。(品切)  
 ISBN 978-4-86110-407-7 ¥3500

**社会・歴史**

**グローバリゼーションとリスク社会**  
 「東洋英和女学院大学社会科学部研究叢書1」  
 岡本浩一 (東洋英和女学院大学教授) / バトリシア・ア・スイツベル (東洋英和女学院大学教授) 編  
 ◆グローバリゼーションにともない、リスクもグローバル化する時代。そのリスクとは、どのようなものか。  
 ◆医療、食品安全、サイバー犯罪、外交、から地球環境まで、国境を越えて拡散する多様なリスクにどう立ち向かうべきか。グローバル化時代に新たな指針を示す9編の論考。  
 ◆リスク各論、奥行きのある事例研究のみならず、広大な地球環境リスクと市民性の問題についても展望する。  
 ◆東洋英和女学院大学の現代史研究所と社会技術研究所が共催したシンポジウムの講義をもとに書き下ろしを加えた、今日の喫緊の課題に込める書。  
 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

**地域と越境**  
 ー「共生」の社会経済史  
 内田日出海 (成蹊大学教授) / 谷澤毅 (長崎県立大学教授) / 松村岳志 (天東文化大学教授) 編  
 ◆歴史における「共生」とは何かを探る、野心あふれる社会経済史研究。  
 ◆スターリンの圧政を逃れて中国に決死の脱出を試みたロシア・ドイツ人をはじめ、ロシア、ヨーロッパ、アジアの各地域で、国家の枠組みを超えて生きることを余儀なくされた人々の営みと経済を見る。  
 ◆「西ヨーロッパの越境世界」「ロシアからアジアへ」「アジアの越境世界」の三部構成。  
 ISBN 978-4-86110-407-7 ¥3500

**誰が差別をつくるのかーエチオピアに生きるカファとマンジヨの関係誌**  
 吉田早悠里 (名古屋大学特任助教)  
 エチオピアのカファとマンジヨ、かつて農耕民と狩猟民として共存していたカファとマンジヨ。「差異」と「忌避」は、なぜ「差別」・「被差別」の関係にすり替わってしまったのか？「差別」形成の全貌。  
 ISBN 978-4-86110-402-2 ¥4900

**マーケティング・デモクラシーー世論と向き合う現代米政治の戦略技術**  
 平林紀子 (埼玉大学教授)  
 クリントン、ブッシュ、オバマ政権が実践してきたマーケティング手法は、民主政治の新たな希望となりうるか。大統領選挙から政権運営まで、アメリカ政治に導入される技術の分析、評価。  
 ISBN 978-4-86110-387-2 ¥4600

**グレゴリオ・デ・セスヘデスースペイン人宣教師が見た朝鮮と文禄・慶長の役**  
 朴哲 (韓国外国语大学校学長) 著 / 谷口智子 (愛知県立大学准教授) 訳  
 キリシタン大名との親交、秀吉への怒りなど、貴重な書簡をもとに、時代の渦に呑まれた宣教師の姿を浮き彫りにする！  
 ISBN 978-4-86110-366-7 ¥4600

**多文化組織の日本人リーダー像ーアフストーリー・インタビューからのアプローチ**  
 石黒武人 (明治大学講師)  
 多文化組織でリーダーとして活動する日本人の、傾向と問題点とは何か？対話的構築主義の見地から明らかにする。  
 ISBN 978-4-86110-322-3 ¥3000

**多文化組織の日本人リーダー像ーアフストーリー・インタビューからのアプローチ**  
 石黒武人 (明治大学講師)  
 多文化組織でリーダーとして活動する日本人の、傾向と問題点とは何か？対話的構築主義の見地から明らかにする。  
 ISBN 978-4-86110-322-3 ¥3000

**越境者の世界史**  
 ー奴隷・移住者・混血者  
 弘末雅士 (立教大学教授) 編  
 古代の地中海世界から二〇世紀のインドネシアにいたるまで、異なる世界の仲介者の役割を検討し、国民国家を越える広域ネットワークの形成と変容をたどる。  
 ISBN 978-4-86110-386-5 ¥2500

**ラルテ・ヴェトラリア**  
 ー17世紀初頭のガラス製造術  
 アントニオ・ネリ 著 / 日本ガラス工芸学会 編  
 一六二二年に出版された、最古のガラス製法書を訳出。工芸史のみならず美術史、科学史などの面からも興味深い書。  
 ISBN 978-4-86110-131-1 ¥5000

**空間のエスノグラフィー**  
 ー文化を横断する  
 川床靖子 (大東文化大学教授)  
 鳥取の「ひまわりシステム」、徳島のつまものビジネスなど、おもに女性高齢者の活動をフィールドワーク。民衆の日常実践に埋め込まれた「知」を描き出す。  
 ISBN 978-4-86110-367-4 ¥2700

**学習のエスノグラフィー**  
 ータンザニア、ネパール、日本の仕事場と学校をフィールドワークする  
 川床靖子 (大東文化大学教授)  
 フィールドワークによって、学習における知識と実践の関係を問い直し、学習環境デザインの未来を提示。  
 ISBN 978-4-86110-113-7 ¥2381

**ネットワーク社会と空間のポリティクス**  
 ー都市・モダニティ・グローバル化  
 大澤善信 (関東学院大学教授)  
 あらゆるものが「情報」として脱物質化されてしまう世界の展望とは？ハーバース、ギデンズらの論考を辿る。  
 ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

**「敵国語」ジャーナリズム**  
 ー日米開戦とアメリカの日本語新聞  
 水野剛也 (東洋大学教授)  
 日米開戦後、米による統制をうけつつも日本語新聞は必死の後退戦を展開。報道の自由が国益で揺れる政府と未曾有の危機に直面したジャーナリズムの命運。  
 ISBN 978-4-86110-258-5 ¥2500

**「敵国語」ジャーナリズム**  
 ー日米開戦とアメリカの日本語新聞  
 水野剛也 (東洋大学教授)  
 日米開戦後、米による統制をうけつつも日本語新聞は必死の後退戦を展開。報道の自由が国益で揺れる政府と未曾有の危機に直面したジャーナリズムの命運。  
 ISBN 978-4-86110-258-5 ¥2500



<p><b>日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム</b>——リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦</p> <p>水野剛也 (東洋大学教授)</p> <p>「日系人強制収容・立ち退き問題」を新聞はどう報じたか。精密な紙面比較分析から、権力とメディアの関係を検証する。</p> <p>ISBN 4-86110-038-0 ¥4600</p>	<p><b>黒人差別と国民国家</b></p> <p>—アメリカ・南アフリカ・ブラジル</p> <p>A・W・マークス著／富野・岩野・伊藤訳</p> <p>「白人統一」「社会安定」の大義のために、国家は人種差別を利用し、黒人たちは犠牲となってきた。三カ国の詳細な比較研究によって差別の実態と謎に迫る!</p> <p>ISBN 978-4-86110-107-6 ¥6190</p>	<p><b>牝牛と信号</b></p> <p>—「物語」としてのネハール</p> <p>山本真弓／序・佐々木幹郎 (詩人)</p> <p>小説のような現代史。谷川俊太郎氏推薦。</p> <p>ISBN 4-921146-60-8 ¥2200</p>	<p><b>聖地と祈りの宗教社会学</b></p> <p>—巡礼ツーリズムが生み出す共同性</p> <p>岡本亮輔 (慶應義塾大学非常勤講師)</p> <p>ツーリズム化する聖地巡礼の「共同性」。</p> <p>ISBN 978-4-86110-315-5 ¥5000</p>	<p><b>IT社会の護身術</b></p> <p>佐藤佳弘 (情報文化総合研究所所長)</p> <p>「ケータイは身体に悪い?」暮らしを守る心構えをやさしく解説。</p> <p>ISBN 978-4-86110-204-2 ¥2095</p>	<p><b>僕の解放前後</b></p> <p>—一九四〇—一九四九</p> <p>柳宗典著／白燦訳／太田孝子 日本語校開</p> <p>現場体験者のみが語れる庄巻の現代史!</p> <p>ISBN 978-4-86110-164-9 ¥2800</p>
<p><b>ブラジルの都市問題</b></p> <p>—貧困と格差を越えて</p> <p>住田育法 (京都外国語大学教授) 監修／萩原八郎・田所清克・山崎圭一編</p> <p>著しい経済発展と貧困層。ブラジルの巨大都市がかかえる諸問題に、多様な角度からアプローチする。</p> <p>ISBN 978-4-86110-173-1 ¥3619</p>	<p><b>中心と周縁—タイ、天草、シカゴ</b></p> <p>佐久間美穂 (東京福祉大学助教)・内藤辰美 (山形大学教授)</p> <p>なぜ世界は周縁を創るのか? タイのラム街における住民組織化運動、天草の出稼ぎ売春婦などを取り上げ、構造化された「排除のシステム」を明らかにする。</p> <p>ISBN 978-4-86110-369-8 ¥3500</p>	<p><b>現在と性をめぐりつつの試論</b></p> <p>—言語・社会・文学からのアプローチ</p> <p>小玉亮子 (お茶の水女子大学教授) 編著</p> <p>「性」を手がかりに多様なテーマを論じる。</p> <p>ISBN 978-4-86110-177-5 ¥1800</p>	<p><b>ブルシエンシヤフト成立史</b></p> <p>—ドイツ「学生結社」の歴史と意義</p> <p>菅野瑞治也 (京都外国語大学教授)</p> <p>何百年と続く共同体の魔力に迫る!</p> <p>ISBN 978-4-86110-304-9 ¥4200</p>	<p><b>ガラスのなかの古代ローマ</b></p> <p>—三、四世紀工芸品の図像を読み解く</p> <p>藤井慈子 (ローマガラス研究家)</p> <p>非文献史料による、庶民の暮らし、祈り。</p> <p>ISBN 978-4-86110-256-1 (品切)</p>	<p><b>かの冬、そして秋</b></p> <p>—僕の朝鮮戦争</p> <p>柳宗典著／白燦訳／太田孝子 日本語校開</p> <p>「少年」の眼がとらえた世界、人生、祖国。</p> <p>ISBN 978-4-86110-256-1 ¥2800</p>
<p><b>フランス革命を旅したイギリス人</b></p> <p>—リグビー博士の書簡より</p> <p>エドワード・リグビー著／川分圭子 (京都府立大学教授) 訳</p> <p>バスターイユ襲撃の記録を含む書簡は、当時のヨーロッパの文化・人的交流をいまに伝える。</p> <p>ISBN 978-4-86110-171-7 ¥2381</p>	<p><b>貧困をどのように捉えるか</b></p> <p>—H・ガンズの貧困論</p> <p>西村貴直 (関東学院大学教授)</p> <p>富裕層の生活水準は貧困層の存在を前提として維持されているという、貧困の「積極的機能」に着目し、あるべき福祉政策の方向性を模索する。</p> <p>ISBN 978-4-86110-343-8 ¥3333</p>	<p><b>旅する対話</b></p> <p>—ディアスポラ・戦争・再生</p> <p>姜信子 (作家)・ザライ・イマーエフ (映像作家)</p> <p>悲劇の荒野を旅する。</p> <p>ISBN 978-4-86110-350-6 ¥1800</p>	<p><b>グロバリゼーション、市民権、都市</b></p> <p>—ヘクシスの社会学</p> <p>岩永真治 (明治学院大学教授)</p> <p>国境を越えた市民権の可能性を展望。</p> <p>ISBN 978-4-86110-140-3 ¥3333</p>	<p><b>狩猟の文化</b></p> <p>—ドイツ語圏を中心として</p> <p>野島利彰 (駒澤大学教授)</p> <p>狩猟方法から狩猟文学・信仰までを詳述。</p> <p>ISBN 978-4-86110-210-3 ¥3000</p>	<p><b>太平洋問題調査会</b></p> <p>—「1925〜1961」とその時代</p> <p>山岡道男 (早稲田大学教授) 編著</p> <p>世界初の本格的国際非政府組織の全貌。</p> <p>ISBN 978-4-86110-211-0 ¥4600</p>
<p><b>イングランドの地名</b></p> <p>—起源と歴史を訪ねて</p> <p>ケネス・キャメロン著／吉見昭徳 (明治学院大学名誉教授) 訳</p> <p>ケルト、スカンジナビアなど、民族や地域に由来する地名を分析することで見えてくる、イングランドの歴史・自然・風土。</p> <p>ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286</p>	<p><b>表象のヴェネツィア—詩と美と悪魔</b></p> <p>鳥越輝昭 (神奈川大学教授)</p> <p>「美しさの他にはほとんど何も残っていない町」(ラスキン)はどのように語られ描き出されてきたか。バイロンの詩、ヴィスコンティの映画など、ヴェネツィアから見えてくるヨーロッパ文化の風景。</p> <p>ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800</p>	<p><b>台湾—メディア・政治・アイデンティティ</b></p> <p>—本多周爾 (武蔵野学院大学教授)</p> <p>台湾のメディア事情と政治、民主化後の変遷を分析。</p> <p>ISBN 978-4-86110-216-5 ¥2381</p>	<p><b>国際社会学の実践—国家・移民・NGO・ソーシャルビジネス</b></p> <p>三橋利光 (東洋英和女学院大学名誉教授)</p> <p>個人の行動が、地球社会に達する過程。</p> <p>ISBN 978-4-86110-263-9 ¥2381</p>	<p><b>19歳のライフデザイン</b></p> <p>—江戸川大学ライフデザイン学科編</p> <p>大学の勉強をロハスに活かすためのハンドブック!</p> <p>ISBN 978-4-86110-152-0 ¥1429</p>	<p><b>世間師・宮本常一の仕事</b></p> <p>斎藤卓志 (民俗学者)</p> <p>民俗学の偉人にとつての歩くこと、書くこと、生きることの意味を問いかける。</p> <p>ISBN 978-4-86110-156-4 ¥3200</p>
<p><b>近代スコットランドの社会と風土</b></p> <p>—(スコティッシュネス)と(ブリティッシュネス)の間で</p> <p>小林昭夫 (関東学院大学名誉教授)</p> <p>イングランドと対峙し共存してきた「国家なきネイション」の独自性を政治・宗教・産業・都市の観点から多面的に辿る。</p> <p>ISBN 978-4-86110-257-8 ¥2800</p>	<p><b>保守のヒント</b></p> <p>中島岳志 (北海道大学准教授)</p> <p>混乱の日本をどう捉えればいいのか。保守と右翼の違い、マニフェスト選挙の問題点など、気鋭の学者が近代日本史をふまえて論じる。宮台真司氏とのロング対談を収録。</p> <p>ISBN 978-4-86110-227-1 ¥1800</p>	<p><b>マスメディア論</b></p> <p>—現場と社説と地方紙と</p> <p>大西正行 (十文字学園女子大学教授)</p> <p>失われつつある記者魂の復活をとらえる。</p> <p>ISBN 978-4-86110-228-8 ¥1800</p>	<p><b>国際社会学の挑戦</b></p> <p>—個人と地球社会をつなぐために</p> <p>三橋利光 (東洋英和女学院大学名誉教授)</p> <p>「望ましい地球社会」を目指して生きる。</p> <p>ISBN 978-4-86110-142-7 ¥2381</p>	<p><b>多民族の国イギリス</b></p> <p>—4つの切り口から英国史を知る</p> <p>唐澤一友 (駒澤大学教授)</p> <p>国の構成、国旗、紋章、英語の視点。やさしい切り口から奥深いところへ。(品切)</p> <p>ISBN 978-4-86110-154-2 ¥2200</p>	<p><b>1920年代の日本と国際関係</b></p> <p>—混雑を越えて「新しい秩序」へ</p> <p>杉田米行 (大阪大学教授) 編</p> <p>変転期日本を多角的に再検討。</p> <p>ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500</p>
<p><b>変容する冷戦後の世界</b></p> <p>—ヨーロッパのリベラル・デモクラシー</p> <p>永松雄彦・萬田悦生 (京都外国語大学教授) 編</p> <p>「自由」と「民主主義」はどこまで可能なのか。旧西側諸国と旧東側諸国における議会制民主主義の諸相を探る。</p> <p>ISBN 978-4-86110-224-0 ¥2381</p>	<p><b>イランとイスラム—文化と伝統を知る</b></p> <p>森茂男 (大阪大学教授) 編</p> <p>世界情勢の鍵を握る国を文化面から分析。古代宗教、神秘主義から歴史、文学、祭りや習俗、テヘランのファッションチェック、ナシヨナリズム問題までを初めて紹介!</p> <p>ISBN 978-4-86110-215-8 ¥2381</p>	<p><b>ブルマーはなぜ消えたのか</b></p> <p>中嶋聡 (医師)</p> <p>「人の嫌がることはしない社会」に負けないための知的参考書。</p> <p>ISBN 978-4-86110-103-8 ¥1300</p>	<p><b>エスノメソドロジーの可能性</b></p> <p>—社会学者の足跡をたどる</p> <p>椎野信雄 (文芸大学教授)</p> <p>ガーンフェンケルが提唱した可能性とは。(品切)</p> <p>ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200</p>	<p><b>頭山満と近代日本</b></p> <p>大川周明著／中島岳志 (北海道大学准教授) 編・解説</p> <p>革新右翼の理論家が描いた伝統右翼。</p> <p>ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200</p>	<p><b>京都の中のドイツ</b></p> <p>青地伯水 (京都府立大学教授) 編</p> <p>祝祭、造園、思想などの視点から、京都におけるドイツ文化の受容をさぐる。</p> <p>ISBN 978-4-86110-266-0 ¥3200</p>



支配人  
シネマ・ジャック&ベティ  
梶原俊幸  
(横浜市中区)



## 街と共に生きる映画館

前身である横浜名画座は、1952年にオープン。それを引き継いだ形のジャック&ベティも、2005年に閉館。2007年になって、梶原さんが運営を引き継いで復活した。

「(7年前は)ここで引き継いで頑張っていかないと、また閉館してしまうという危機感でした」と、梶原さんは当時を偲ぶ。

「黄金町や伊勢佐木町は、下町っぽい雰囲気や、怪しげな雰囲気もあって、多くの映画や歌の舞台となった場所。そんな場所にある映画館をなんとか存続させたかった」

ただ、昨今の映画館はシネコンが主流になりつつもある。

「シネコンはショッピングセンターの中にあつて、確かに便利。でも、どこにあつても同じような造りで、いつでも何を観たという感覚が“固有なもの”、“そこにしかない何か”ではなくなってしまう」

ジャック&ベティでは月に一度、横浜出身の美空ひばりの上映会も継続して行っている。

「上映が始まると、お客さんがスクリーンに向かって拍手をしたり、口ずさみ、みな一緒に笑うんです。お客さんは、映画を映画館で観ることの楽しさ、場所を共有する

ことの楽しさを知っているんだと思います」

梶原さんは、シネコンと「対極」ともいえる、「街の映画館」であることを常に意識しているという。

「映画館を出れば、歩いてすぐのところに、個性溢れるレストラン、お店が沢山ある。映画館だけではなく、街づくりも一緒に関わっていきたい」

かつての黄金町は、若い人や女性が訪れにくいイメージもあったが、最近は随分変わってきた。

「若い方や女性にも、気軽に来てもらえるようになりました。今ではそのことも意識して上映プログラムを考えるようにしています。若い方からは、“こんな(郷愁溢れる)映画館があったんだ。逆に新しい”と、よく驚かれます。施設や設備、全てのものが古いんですけど(笑)」

新しさ。それは、どこか消費消費に急かされない“懐の深さ”なのかもしれない。

「できる限りロビーに立って、お客さんの反応を見るようにしています。それを直に感じられることも、街の映画館ならではの。横浜は、もともとは映画の街。その灯を消さないだけでなく、盛り上げていきたい」



LABORATORY

### この研究室が面白い！ 「世界はもっと多様です」

創価大学文学部教授 石原忠佳研究室

大学ではスペイン語、アラビア語、イスラーム文化史、中東地域研究の授業を担当していますが、ここ数年の主な研究対象はベルベル語です。モロッコやアルジェリアに住むベルベル人の間で使われている言語で、話者人口は、ちゃんとした統計はないのですが、600万から1500万といわれています。今回の『ベルベル語とティフィナグ文字の基礎——タリーフィート語 (Tarifit) 入門』では、ベルベル語の一方言で、北モロッコで使用されるタリーフィート語を主に取り上げました。発音・文字・文法にわたってここまで詳しく論じ、ベルベル文字を紹介している本は今までにないと思います。

30年以上前のことですが、アフリカの言語を研究するために、スペイン南部のグラナダ大学に留学し、1982年にアラビア語学科を卒業しました。スペイン人といっしょに、本科を卒業した外国人は、当時はいませんでした。朝から晩までひたすら勉強でしたね。他の人と同じことはしたくない、誰もやっていないことをやってやろう、という思いがありました。

いま、英語の世界支配、いわゆる英語帝国主義に対する批判があります。英語が重要な言語のひとつであるのは確かです。でも、英語だけでは世界の一部分しか見えないし、英語だけで済まそうとするのは傲慢です。世界はもっと多様です。

タリーフィート語のような少数言語の場合、まずは記録すること、残すことが大事です。後代になって誰かが掘り起こすかもしれない。だから、誰かがやらなければならない。今度は本格的なベルベル語の辞書を作りたいと考えています。(談)



BOOKSTORE

### 営業部発 本屋に行こう 「顔」が見える本屋さん

石堂書店 横浜市港北区菊名1-5-9 ☎045-401-9596

「あら、こんにちは」と、近所のおばさん。

「〇〇ありますかあ」と、駆け込む小学生。

石堂書店のレジカウンターは、いつも賑やかだ。

この気安さ、懐かしい雰囲気——。

「創業は1949年で、祖父が始めてから65年目になります」と、店長の石堂智之さん。

大型書店やネット書店が幅を利かす昨今、街の書店の強みとは何だろう。

「人は便利さを求めます。でも、それだけでは物足りなさも感じるのではないのでしょうか。ちゃんと顔を合わせて交流できるというのは、小さな書店の強みだと思います」

石堂書店の品揃えは、幼児から年配の方まで幅広い。

「地域にどれだけ密着できるかということ、いつも意識しています」

今や妙蓮寺駅周辺では、石堂書店が唯一の本屋さんになった。

「かつては、周辺にいくつか書店がありました。一軒だけというのは、おそらく創業して以来、なかったことだと思います……」

そんななか、地元で密着した取り組みも始まっている。

「月一回の紙芝居・読み聞かせ会や、地元著者の講演も行っています。本に触れるきっかけづくりになれば、と。でも、書店に来てもらうだけでなく、街が元気になればとの思いもあります。(生まれ育った妙蓮寺が)いい街と思ってもらえるのが、何より嬉しいんです」

お話を伺って、懐かしさの正体が分かったような気がした。街の本屋さんで育てられて大人になったのに、気づけば便利さに流されて、近ごろは街の本屋さんから遠ざかってしまっている——。そうだ。ちよびり「あの頃」を思い出して、街の本屋さんへ行こう。



AUTHOR

### 自著を語る

「日本語と英語の両方から句を愉しめます」

古平隆(編著・共訳)『天狼俳句の英訳——誓子・敏雄・綾子』

「天狼俳句」を英訳しようと思ったきっかけは、ドナルド・キーン氏の講演を紹介した新聞記事を読んだことにあります。氏は、「今のように俳句が国際化すると、外国人は、いつまでも芭蕉、蕪村、一茶ではなく、現代の俳人を読みたくなる」と語っていました。それを読んだとたん、現代俳句の出発者であり旗手である山口誓子をアメリカで出版し、世界で販売する、それにはアメリカ人との共訳がふさわしい、とひらめきました。

アトランタで出版した、*The Essence of Modern Haiku: 300 Poems by Seishi Yamaguchi*は国内外で大変好評を博し、外国人向けの俳句翻訳書であったはずのものが、多くの日本人から誓子の俳句が身近になったと言われました。

誓子主宰の天狼俳句会を世界に発信することを志していたため、その後も「天狼」の俳人たちの句を英訳してきましたが、本書では、山口誓子、三橋敏雄、細見綾子の俳句を各50句と、誓子の自註または私の鑑賞文をすべて日英対訳(共訳)にしました。自註から読者は作句の機微を学び、鑑賞文は読者が次の鑑賞者になるのに役立つと思います。コラムや巻末の解説で各俳人の特長や俳句界の状況に触れていますので、俳句とこれまで縁のない方でも、俳句の背景を理解しながら読んでいただけたと思います。

英訳する時、日本語は特に、かりかり、するする、せりせりなど擬声(音)語が発達しておりますので、これを英語に訳すのは困難です。ただ、実際に音を聞いておりますので、それだけまだよいとも言えます。散文にしる韻文にしる、例えば、英語の「ドッグ」を「犬」と訳してみても、作家・詩人の「ドッグ」は同一の「犬」として読者に伝わるわけではありません。イメージをどう紡ぐか、それが翻訳の難しさですね。(談)



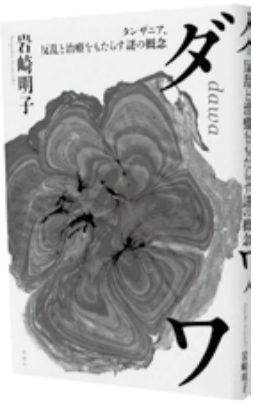
人類学



ヘラジカの贈り物
―北方狩猟民カスカと動物の自然誌
山口未花子 (岐阜大学助教)
四六判並製・三八〇頁
ISBN 978-4-86110-383-4 ¥3200

狩猟生活に入門し、動物との関係に迫る！

世界で最も多くの動物を殺しつつ、動物への尊敬と感謝の気持ちを捨てない、カナダの狩猟民カスカ。著者は、現地のインディアンに古来の弟子入りして、猟師の修行を積む。彼らと共に暮らし、狩りをし、肉を解体して食べた研究者が、動物との接し方や人と動物との関係を改めて考える民族誌。
※狩猟や解体など、現場の写真も多数収録！



ダウー反乱と治療をもたらす謎の概念
岩崎明子
ドイツ植民地統治下の現タンザニアで起きた有名な反乱「マジマジの乱」を導いた「ダウ」とは一体何なのか。事件に巻き込まれつつ現地調査する、スリリングな民族誌。
ISBN 978-4-86110-382-7 ¥3333

ISBN 978-4-86110-382-7 ¥3333

エコツーリズムの民族誌
―北タイ山地民カレンの生活世界
須永和博 (獨協大学准教授)
森林破壊者のレッテルを貼られた山地少数民族が、伝統的な知恵を生かしてエコツーリズムを実践しながら、新たなアイデンティティを獲得していく姿を描き出す。
ISBN 978-4-86110-327-8 ¥4600

The Roots Seekers: Shamanism and Ethnicity among the Mongol Buryats
鳥村平 (滋賀県立大学准教授)
二〇一三年度地域研究コンソーシアム(JCAS) 賞研究作品賞受賞『増殖するシャーマン』英語版。装いも新たに登場。
ISBN 978-4-86110-397-1 ¥6667

Social Development, Culture, and Participation: Toward theorizing endogenous development in Tanzania
阪本公美子 (宇都宮大学准教授)
経済指標のみに着目した開発観を改め、内発的發展のあり方を探る。(英文)
ISBN 978-4-86110-174-8 ¥6476

「精霊の仕業」と「人の仕業」
―ボルネオ島カリス社会における災い解釈と対処法
奥野克巳 (桜美林大学専任教授)
インドネシア辺境の暮らし、神話、儀式、呪い、狂喜。カリス社会の生々しい人類学調査の記録。
ISBN 4-86110-000-3 ¥6476

ナシヨナリズムと宗教―現代インドのヒンドゥー・ナシヨナリズム運動
中島岳志 (北海道大学准教授)
ナシヨナリストとは誰か？ インド国内メディアでさえ取材の難しい過激な宗教ナシヨナリズム運動の内部深く入り、その活動実態と理念を明らかにする。
ISBN 4-86110-048-8 ¥3619

帝国医療と人類学
奥野克巳 (桜美林大学専任教授)
帝国主義時代以降、世界中に広まった近代医療の自明性を問う。
ISBN 4-86110-062-3 ¥2190

増殖するシャーマン―モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ
島村平 (滋賀県立大学准教授)
悲劇の歴史とエスニシティ。
ISBN 978-4-86110-299-8 ¥7500

やわらかな開発と組織学習
―エニールの現場から
関谷雄一 (東京大学准教授)
ボランティア組織のあるべき姿を探求する。(品切)
ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

インカ帝国の成立
―先スベイン期アンデスの社会動態と構造
渡部森哉 (南山大学准教授)
アンデス諸社会の興亡を新たに描く。
ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

Estructura en los Andes Antiguos
渡部森哉 (南山大学准教授)
既刊『インカ帝国の成立』第II部のスペイン語版。
ISBN 978-4-86110-371-1 ¥5714

身体と境界の人類学
浮ヶ谷幸代 (相模女子大学教授)
わくわくするようなトピックと豊富な事例で人類学の魅力を伝える。
ISBN 978-4-86110-244-8 ¥2200

精霊の子供
―「モロ諸島における憑依の民族誌」
花淵馨也 (北海道医療大学准教授)
憑依儀式が、もう一つの「現実」を作る。
ISBN 4-86110-031-3 ¥6476

癒しと呪いの人類学
板垣明美 (横浜市立大学准教授)
ヴェトナムとマレーシアでのフィールドワークから「癒し」の諸相を探る。
ISBN 4-921146-86-1 ¥2800

ヴェトナム―変化する医療と儀礼
板垣明美 (横浜市立大学准教授) 編 / 未成、宮沢他著
結婚式、葬式、村の医療体制…現地調査。
ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

学問の暴力
―アイヌ墓地はなぜあばかれたか
植木哲也 (吉小牧駒澤大学教授)
知はなぜ権力・暴力性を帯びるのか。
ISBN 978-4-86110-152-6 ¥2381



セックスの人類学
奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二編
イルカやサルの性生活から、セックスの儀礼、SM、性転換、ペニスピンまで、フィールドワークを通じて動物と人間の性に肉薄。
ISBN 978-4-86110-180-9 ¥1905

経済からの脱出
織田竜也・深田淳太郎編
生命、市場、時間、貨幣、感情、贈与…新たな知が、危機のなから姿を現す。
ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381

宗教の人類学
吉田匡典・石井美保・花淵馨也編
遠い存在なのに、日常に埋め込まれている現代の宗教を我が身に引き寄せる。
ISBN 978-4-86110-216-5 ¥1905

アジアの人類学
片岡樹・シンジルト・山田仁史編
「焼畑」「牧畜」「狩猟採集・漁撈」「モノ」など、人類学の視点でアジアを捉える。
ISBN 978-4-86110-357-5 ¥2381

人と動物の人類学
奥野克巳・山口未花子・近藤秋編
ヘラジカと話す男、ゴリラに「なる」人間…。多様な人と動物の関係を探る。
ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381

◎刊行予定

- ▼おもしろポケット 新井奥達語録抄 三浦衛編著 / 小野四平訳 ▼新編 待つつかないか。木田元、竹内敏晴 ▼奥達語集 春風社編集部編 ▼西田哲学から聖霊神学へ 小野寺功 ▼京都学派の歴史哲学 小野寺功 ▼新版・大地の哲学 小野寺功 ▼カント伝 M・キューン著 / 菅沢龍文、山根雄一郎ほか訳
- ▼カントの人権思想 菅沢龍文 ▼デカルトによる修練の哲学 津崎良典 ▼越境する方法 村上勝三 ▼虚構の形而上学 中村靖子ほか
- ▼梵文仏典の偶頌の研究 岩松浅夫 ▼古代ギリシャの死生観 木原志乃 ▼死生学 死の隠蔽から自己確信へ 岩崎大 ▼社会学的システマ理論の軌跡 赤堀三郎 ▼エッセイ風都市社会学 吉瀬祐一 ▼現代中東政治学 末近浩太 ▼婚姻連帯論と社会学 門口充徳
- ▼ホストセリングCMとは何か 山下玲子、藤井達也 ▼マスメディア論II 大西正行 ▼イスの歴史 藤野成爾訳 ▼北の商都「小樽」の近代内藤辰美 ▼江戸・東京の下肥市場 田島夏与 ▼盆栽 日本の文化 川崎仁美
- ▼建築人類学 牧野冬生 ▼「開発と感情」の人類学 関根久雄編 ▼帝国と文化 江藤秀一編 ▼Dominio Provincial en el Imperio Inca 渡部森哉 ▼東南アジア考古学事典 菊池誠ほか編 ▼左伝の女たち 尾崎保子 ▼荒野へII 中井農 ▼オフェリアの方へ 大石直記 ▼マーガレット・オブ・ヨークの「世紀」の結婚 大谷伴子 ▼「女の子」という運動 田丸美砂 ▼オール・アバウト・ラブ B・フックス著 / 宮本敬子、大塚由美子訳 ▼名著革命とイギリス文学 富樫剛ほか
- ▼Contemporary Irish Plays 佐竹晶子 ▼もう映画はやめた P・ルコント著 / 桑原隆行訳 ▼いないも同然だった少年 P・ルコント著 / 桑原隆行訳 ▼愉しみは最後に P・ルコント、D・デカンヴィル著 / 桑原隆行訳 ▼フアン・メンデルスゾーン 米澤孝子訳 ▼ブルー・マルクス 庭園の美学 J・レナール編著 / 荒井芳廣訳 ▼一人の詩人と二人の画家 ナット・メルル著 / 木村公一ほか訳
- ▼教育の哲学 J・バスマア著 / 小澤喬訳 ▼ビジティング・ティーチャーとアメリカ教育 福祉社会史 倉石一郎
- ▼語りと表現 青木幸子 ▼薙刀と学校教育 井上アヤ子 ▼21世紀の社会認識教育にむけて 薩山雅博 ▼野の学校 佐々木光郎

- ▼日本における人格教育 吉岡良昌
- ▼健康自然塾 川村協平 ▼『土佐日記』の言説研究 佐藤美弥子 ▼理系のためのロジカル英語入門 佐藤美弥子 ▼English and Development 松原好次ほか訳
- ▼フランス語時制論 西村淳子 ▼一歩先に行くための英文法+α 古田直肇 ▼暮らしに役立つ日本語便利帳 (スペイン語版) 長谷川哲子 ▼ブロンテ小説における「病」と「看護」 川崎明子 ▼つくられる記憶 黄益九 ▼一九六〇年代の三島由紀夫と戦後 日本 洪潤杓 ▼写真集 石巻 橋本照高 ▼世界写真紀行 美しい自然と文化を訪ねて 渋谷興一 ▼人生の請求書 早坂カンナ
- (横浜市立大学新叢書) ▼日中間戦争と中国人文学者 鈴木正夫 ▼韓国の財政と地方財政 趙重鎬 ▼ホロコーストとは何か 永岑三千輝 ▼今知っておきたい運動と健康のこと 村松茂 ▼ホロコーストの歴史を見る 山根徹、清水雅大訳 ▼主観的韓国論 倉持和雄 ▼20世紀日本と東アジア経済圏 金子文夫
- (東洋英和女学院大学社会科学部研究叢書) ▼ネット空間を変えるモバイル社会 町田幸彦編

春風接人

弊社の創業十五周年を期し、「ご好評いただきました」春風目録新聞を「春風新聞」と改称し、紙面をリニューアルいたしました。表紙の言葉は新井奥達(あらい・おうすい)「静間説」から。新井と肝胆相照らす仲だったとも伝えられる田中正造の「真の文明ハ山を荒さず、川を荒さず、村を破らず、人を殺さざるべし」と通底する言葉であると思量します。出版業界においても、電子化の波は散うべくもありませんが、日本人は和紙の創始以来の紙好き。この度の東日本大震災と福島第一原子力発電所事故を鑑み、「真の文明」を千年の時といのちの連鎖に重ね問いつづけ、足下をさぐり、めぐり、また楽しさを忘れず、今後の出版活動に邁進する所存です。よろしくお願ひ申し上げます。(三)